

結婚相談室

相 談 日:毎月第2・第4 土曜日
10 時 30 分～ 16 時

休 室 日:平成 24 年 12 月 22 日(年末休み)
平成 25 年 1 月 12 日(年始休み)
平成 25 年 8 月 10 日(夏休み)

但し、休室日に開室することもありますので、
お問い合わせください。

会 場:実践桜会会館(渋谷)

入会資格:本学卒業生及び卒業生のご紹介で
心身共に健康な男女

入 会 金:2 万円(その他書類代として 1,000 円)

入会時にご用意いただくもの:
ご本人自筆の履歴書

写真 5 枚(ご本人のみ、スナップ可)

☆秘密厳守で評判の良い相談室です。

☆詳細は相談日にお問い合わせください。

連 絡 先:TEL 03-3407-7459 (実践桜会会館)

ハーダンガー刺繍教室

入会者は基礎から始まり、オックスフォードなど荒目の
布を使います。昨年の後期には、クリスマスまでにツリー
のタペストリーが間に合ったと楽しそうでした。ドイリー、
ピアノ掛、テーブルセンターなど、それぞれマイペースで
お楽しみいただけます。ぜひ一度、見学にお出かけ下さい。

講習日:毎月第2 木曜日

会 場:実践桜会会館 104 号室

講 師:坪井初代先生

会 費:1 回 1,500 円

持参品:あれば先の切れる小鋏

材 料:糸・針その他材料は教室で
準備します。



実践桜会囲碁教室



大盤による解説

新会館で囲碁教室をはじめてから、近隣に住む男性の参
加があり、同窓生とともに生涯学習として囲碁を楽しんで
います。囲碁は黒石と白石を交互に打って 200 手ほどで勝
敗が決しますが、打ち方の違いで大きな差がつくのは不思議
な位です。その戦いについての格言は沢山あります。例
えば、「敵を攻める前に、己を顧みよ」という本因坊秀哉の
格言は大事にしたいものです。囲碁に限らずどんな戦い
にも当てはまるでしょう。(Y.K)

●教室開催予定日:10/15、10/29、11/12、11/26、12/10、
2013 年 1/28、2/11、2/25、3/11、3/25

実践桜会会館・貸室のご案内

明るい新会館をクラス会、サークル活動、各種打ち合
せ等にお気軽にご利用ください。詳細は実践桜会事務局
(TEL:03-3407-7459)へお問い合わせください。



日本バーナード・ショー協会



箏曲教室

【編集後記】

●ロンドンオリンピックの真っ最中、12 ページ増やして 28 ペ
ージになった「なよたけ情報版 No.18」の編集作業に追われて
いました。皆様のご協力により、無事発行できました。厚く御
礼申し上げます。(YT)

●表紙のイメージを変えました。イラストレーションの出典元は
下田先生の著書、日本初の「家政學」の教科書です。「家政の
要は秩序に在り・・・」ではじまり、家事経済、衣服、から西洋料理
まで、その奥行きに深さに感銘しました。(ST)

●5 月円高の総会では、英国人の方々から預かった義捐金を英
国支部長から被災地支部長に渡されました。本号増頁分では、
英国オリンピックから始まる支部情報 (p14～) と、多様な分
野で活躍中の同窓生 (p6～) を紹介いたします。多くの情報を
頂き有り難うございました。(SK)

【寄附者ご芳名】(敬称略)

山川圓松、岡村仁子、S30 卒高 3B クラス、岩澤勝子、若林智恵子、加藤はつ江、
鍛島康子、桃井雅子、中岡久恵、伊藤都美子、田中逸子、北村恵美子、井原徹、大学・
短大後援会、中高父母の会、和田会計事務所、若松幸子、キャリアセンター串崎、藤
谷文子・八橋宣子、福士兪子、実践桜会総務部、佐野滋、S30.3 卒高 3-C クラス、
山口充子、鈴木香、実生会(S30 卒短大生活科 A クラス)、その他寄附 4 件(寄附は
随時受け付けております。)

編集・発行:一般社団法人教育文化振興 実践桜会

編集・発行人:浦上淳子

〒150-0011 東京都渋谷区東 1-1-40

TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835

HP:http://www.j-sakura.org

広報部メールアドレス:jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

振込口座:東京 00190-0-23848 転居された場合はご連絡ください。

印刷:凸版印刷

ホームページに掲載する投稿記事や写真をお寄せ下さい。広報部メールアドレス:jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

会費納入のお願い

実践桜会は皆さまの会費で運営されています。年会費 2,000 円の納入をよろしくお願いします。

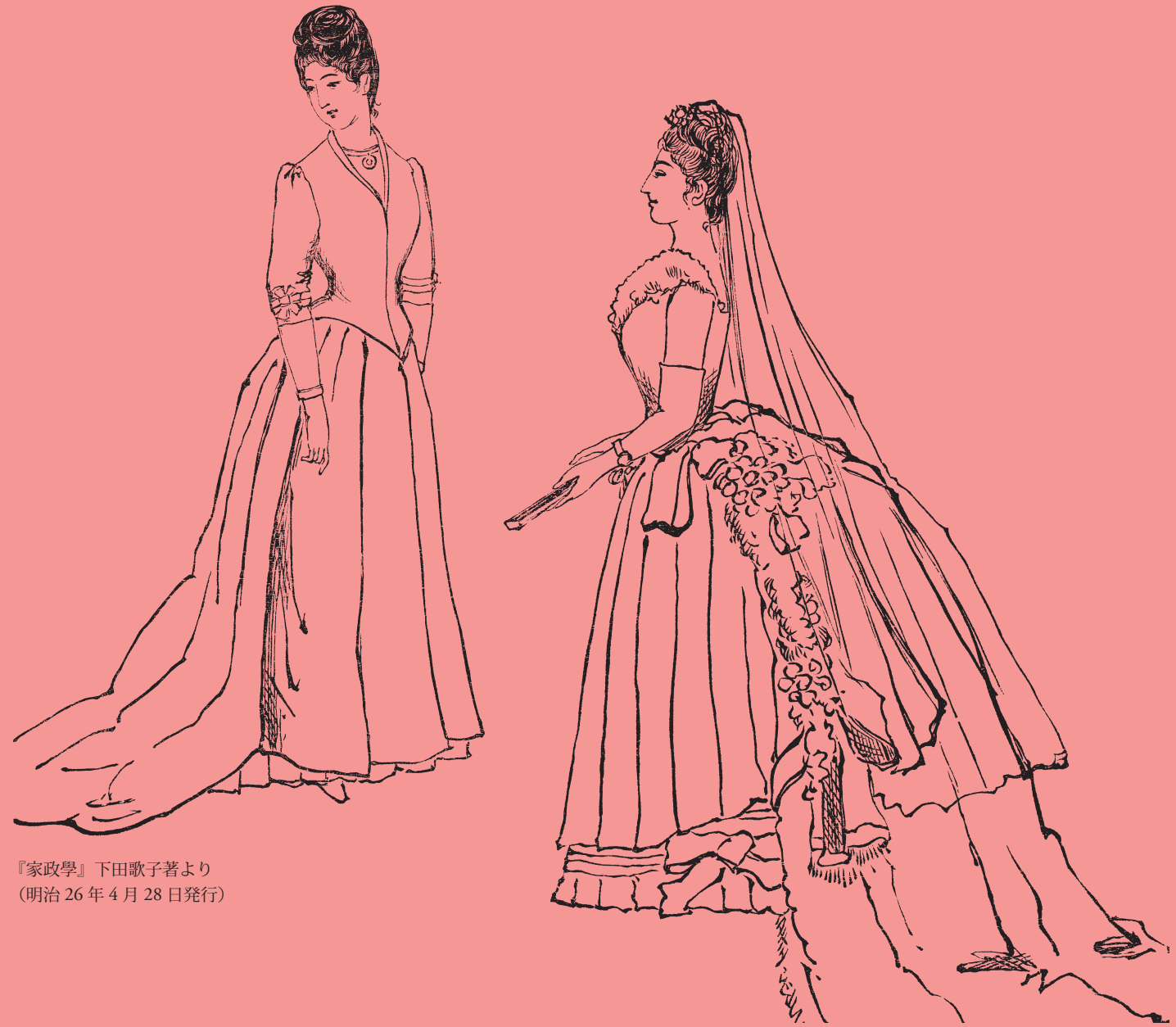
転居・改姓等をされた方及び会費のコンビニ入金をされる方で住所変更もある場合は、実践桜会事務局(TEL:03-3407-7459)まで会員番号をご確認の上ご連絡ください。

なよたけ

情報版

2012.10.1

no. 18



『家政學』下田歌子著より
(明治 26 年 4 月 28 日発行)

実践桜会行事日程

平成 24 年	10/20 (土) 在校生支援「ようこそ先輩	11/17 (土) キャリアネットセミナー第1回
5/13 (日) 定時総会・協力団体懇談会	ようこそ後輩」実践キャリアネット	12/ 1 (土) 臨時総会
(セルリアンタワー東急ホテル)	10/27 (土) ～ 10/28 (日)	12/26 (水) ～ 1/6 (日)
6/16 (土) 実践キャリアネット総会	実践桜会バザー開催	実践桜会会館冬季休館
8/ 7 (火) ～ 8/16 (木)	(中高とさわ祭)	
実践桜会会館夏季休館	10/28 (日) ホームカミングデー	平成 25 年
9 / 8 (土) 地区懇談会(新潟)	(中高渋谷校舎)	1/14 (月) 初春歌舞伎観劇会(国立劇場)
10/ 1 (月) 「なよたけ情報版」No.18 発行	11/10 (土) ～ 11/11 (日)	2/16 (土) キャリアネットセミナー第2回
10/ 6 (土) 学祖祭	大学・短大常磐祭	4/ 1 (月) 「那与竹」第 76 号発行
10/13 (土) 秋季委員会	11/10 (土) ホームカミングデー (日野校舎)	5/19 (日) 定時総会・懇親会・協力団体懇談会
		(セルリアンタワー東急ホテル)

実践女子学園の将来に向けて

実践女子学園理事長

井原 徹



学園創立 120 周年記念事業の一環として建設していた「実践桜会会館」が、平成 24 年 1 月に竣工しました。中高の新体育館で汗を流す生徒の様子も見る事ができるなど、会員の評判も良いと聞き、とても嬉しく存じております。

現在、学園は 2019 年に迎える「創立 120 周年」に標準を合わせ、全ての営みを活発化しています。創立 120 周年までに、この学園が一層の輝きを得ることができるようになりたいと思います。

現在、理事会は本学園の将来を構想するに当たり、三つの基本方針をもっています。

第一は、実践女子学園は女子のための教育機関として生き続けること。第二は、短期大学を当学園の事業として可能な限り維持すること。そして、第三は、中高と大学・短期大学との連携を強化することです。

これらの基本方針を踏まえ、学園の将来を形成するために、私たちは以下の事業を展開しています。

まず、渋谷キャンパスに 2014 年竣工予定の「大学・短期大学棟」の建設です。これは、「創立 120 周年記念整備事業Ⅰ期整備計画」として行われます。渋谷キャンパスにおける文学部、人間社会学部、短期大学の日本語コミュニケーション学科による教育展開の成否は、当学

園の未来に大きな影響を及ぼします。

次に、日野・大坂上キャンパスにおける「創立 120 周年記念整備事業Ⅱ期整備計画」の推進です。文学部、人間社会学部の整備・充実と、ソフト面での生活科学部の充実を実現していく方針です。

これに先行し、多くの卒業生を輩出してきた短期大学食物栄養学科の学生募集を 2013 年に停止し、生活科学部食生活学科に「健康栄養専攻(仮称)」を設けることとしました。また、日野にもう一つの学部を置くことも、将来の発展には必要となるかもしれないと考えております。

三つ目は、日野・神明キャンパスの再活用計画の策定です。理事会は、神明キャンパスの売却は全く考えておりません。この学園の発展に寄与する活用方法を今後検討してまいります。

四つ目は、“広報戦略”“情報発信力の強化”“説明責任の発揮”等、学園の内外に対する情報提供活動の強化です。自分たちの「良さ」を広く社会に発信し、理解を得る努力を強化してまいります。

学園の持続的発展をめざす活動につきまして、卒業生の皆さまのより一層のご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。(いはら とおる)



渋谷キャンパス・大学・短期大学棟の完成イメージ

学園・第二世紀の建設へ

実践女子大学・実践女子短期大学 学長

湯浅 茂雄



平成 26 年 4 月より、大学・大学院・短期大学の文系学部・学科*が渋谷キャンパスに移転します。これにより、大学・大学院・短期大学の修学キャンパスは日野の大坂上と渋谷キャンパスの二カ所に集約されることから、学内では二拠点化と称しています。

渋谷での学生の学び舎である大短棟の建設も、本年 3 月 2 日に地鎮祭(起工式)を滞りなく挙行了いたしました。現在、工事は順調に進捗しており、これら学部・学科の移転が目前に迫っています。そこで、二拠点化を契機とした実践女子大学・実践女子短期大学の新しい時代に向けた取り組みを以下にご紹介いたします。

さまざまな機会に度々表明しておりますが、これらは単なる移転や建設ではありません。移転学部、学科はもちろん、大坂上キャンパスで引き続き教育を展開する生活科学部も含めて、教育改革そのものであり、実践女子学園の第二世紀の建設にほかならないと考えています。

教育改革については、すでに二拠点化を前提としてさまざまな改革が進行しています。4 年前に大短共通の理念に基づく実践スタンダード科目群を創設し、その中で学祖(下田歌子)教育をスタートできたことは、今後、二つのキャンパスで一体的な教育を図る上で大きな意味をもちます。その後も、生活文化学科幼児保育専攻に小学校教員養成課程を、大学院では文学研究科美術史学専攻に博士後期課程を、さらに人間社会学部に現代社会学科を新たに設置しました。

これらもすべて二拠点化後の姿を想定しての改革です。来年度からは、短期大学の食物栄養学科を発展的に解消し、大学生生活科学部食生活科学科の三つ目の専攻として、健康栄養専攻(仮称)を開設すべく現在申請中です。また二拠点化後の渋谷キャンパスでは、学生の多様な勉

学動向を踏まえ、学部・学科の枠組みを越えて、学生が主体的に学べるように副専攻制等の制度の導入を具体化させています。

以上は「改革」がキーワードですが、もう一つのキーワードが「連携」です。学内外、地域、企業との連携です。学内連携は両キャンパスの大短は当然ですが、学園中学校・高等学校との連携もこれまでにない形で行いたいと考えています。すでに校長先生をはじめ、先生方との話し合いも始まっています。中高の生徒は、図書館等の大短棟の設備利用や、大短の授業や各種公開講座への参加が可能となるはずで、大短中高の先生方の行き来も日常的になるでしょう。

学外に対しては、まず青山学院、國學院との連携を構想しています。青山学院とは学長レベルで、國學院とは理事長レベルで話し合いが持たれており、今後さらに具体化が図られていくでしょう。

また、地域や企業との連携として、東急電鉄との連携も視野に置いており、すでに行動も起こしています。渋谷という地域にもあらゆる機会を捉えて大いに貢献したいと考えています。

実践桜会様には、学内外、地域、企業との連携を促進するため、なお一層のご協力をお願いいたします。その一つとして、大短の多様な公開講座や各学科のアカデミックなイベントの開催会場の一つとして、新築の桜会会館をお借りし、そこに多くの卒業生が訪れる姿を思い浮かべています。

以上、取り組みの一部を紹介しましたが、皆様のご期待に沿えるよう、さらに努力を重ねてまいりますので、今後ともお力添えをお願い申し上げます。

(ゆあさ しげお)

*大学＝文学部、人間社会学部の 2 学部 5 学科、大学院＝ 2 研究科 4 専攻、短大＝日本語コミュニケーション学科、英語コミュニケーション学科

(Message)

下田先生建学の精神に思いを寄せて

一般社団法人教育文化振興 実践桜会理事長

浦上 淳子



想いがけず実践桜会の代表理事という重責を担うことになり、数カ月が経過いたしました。遅ればせながら皆様にご挨拶申し上げます。

東日本大震災から一年半、日本のみならず世界中が不安定で不確かな波に洗われています。個人の力が本当に心細く感じられる昨今ですが、世の中の動きも「個」から「共・協」へと変化しているように思います。例えば、映画界では一本の映画を複数の国が協力して国際共同製作するとか。監督はイラン人、俳優は日本人、製作者はフランス人と日本人等。かつて二国間の合作はありましたが、資金面の厳しさがこのような状況を作り、それが国境を超えて新たな活性化につながっています。経済界においては勿論、企業同士の合併や M&A、連携その他、体力強化しなければ、淘汰されかねない状況です。

実践桜会も然り、ご想像にかたくな状態です。同窓会としての役目、一般社団法人としての役目を、今のままで継続していくのは大変厳しいと言わざるを得ません。

下田歌子先生が 1899 年に創立されてから、実践女子学園は 113 年の歴史を刻んでいます。その間、関東大震災や太平洋戦争等、幾多の困難を乗り越え今日を迎えています。そして、ご存知でしょうか？ 卒業生は 15 万人を数え、現在名簿で確認できる方は 6 万人を超えています。

何と大勢の方々が実践女子学園で学ばれたことでしょうか。日本中、いえ地球上の様々な地で活躍されていることでしょう。

歴史とは積み重ねと実感いたします。伝統とはこういうことなのかと責任の重さを痛感して、どうすればこの大役を演じ切ることが出来るか自問自答している私です。

実践桜会の会館も新築され、中高の校舎も整備され、

記念事業の体育館も一見の価値がある程、立派です。二年後には大学・短大の文系学部が高層になる校舎に入る予定です。かつての常磐松の地は見違えるようになるでしょう。大げさにいうと、実践女子学園も今、生まれ変わろうとしているように思えます。

この機会を逃すわけには参りません。実践桜会も全同窓生、学園、全ての関係者がしっかり結びつき、お互いに助け合っていかなければ未来はないと思います。

今日、この時代に生きている私達が、先輩が残してくれたように、後輩や自分達のために支え合っていけたらいいと思います。

理事会一同、ご期待に添うべく日々努力しております。どうぞ、会員の皆様の熱いお志をお寄せくださいませ。

あわせて叱咤激励よろしく願い申し上げます。

(うらがみ じゅんこ)



実践桜会会館を会合などに積極的にご利用ください



平成 24 年度 実践桜会 定時総会報告

平成 24 年度定時総会が 5 月 13 日(日)セルリアンタワー東急ホテルにて開催されました。正会員 7,470 名、出席者数 163 名、委任状総数 3,597 通で、定足数を満たしましたので、定款第 17 条により、総会は成立。下記議題が審議承認されました。

議題

1. 平成 23 年度事業報告の件
2. 平成 23 年度決算書承認の件
3. 公益目的支出計画実施報告書承認の件
4. 監査報告
5. 役員改選の件
6. 平成 24 年度事業計画及び予算の件
7. 新会館建設に関する件



平成 24 年度 臨時総会の お知らせ

日時：12 月 1 日(土)午後 1 時～ 4 時

会場：実践桜会会館 101 ～ 103

- 議題 ①平成 24 年度収支補正予算案
②平成 25 年度事業計画・収支予算案
③その他

※出席者は 11 月 17 日(土)までに事務局にお知らせください。

欠席の方は必ず同封の委任状をご返送下さい。

総会后、講演会を開催いたします。

講師：湯浅茂雄氏(実践女子大学・実践女子短期大学学長)

テーマ：「揺りかごを動かす手が世界を動かす」—下田歌子の目指したもの—

新役員の紹介 (平成 24・25 年度)

理事長	浦上 淳子(昭 37 短英)
総務部	常任理事 二村 朋世(昭 56 短国)
	理事 大屋 恕子(昭 37 大食)
	理事 高田恵美子(昭 42 大国)
	理事 福士 朝子(昭 51 大英)
	理事 霜田 早苗(昭 58 高校)
	理事 岡田 佳子(平 6 高校)
事業部	常任理事 島尾 光代(昭 42 大食)
	理事 長嶺 弘子(昭 37 高校)
	理事 鹿島 恵子(昭 45 大被)
	理事 久保 貴子(平 5 院国博)
財務部	常任理事 大川 徳子(昭 37 高校)
	理事 荒井 櫻子(昭 46 大被)

文化部	常任理事 倉沢蒼生子(昭 39 短被)
	理事 大出 潤子(昭 34 短生)
	理事 藤原 芳子(昭 34 短生)
	理事 西向みち子(昭 47 大被)
	理事 山本三代子(昭 46 短英)
広報部	常任理事 田光 雪枝(昭 47 大英)
	理事 建部 静代(昭 48 大英)
	理事 神谷 早苗(昭 55 院国博)
	理事 鈴木 博子(平 24 院人社)
監事	吉田 和代(昭 45 短被)
監事	野田 東(昭 50 短国)
*カッコ内は(卒年 科)	



輝くひと



人生のきらめきを放つ先輩方、多彩な分野で活躍する同窓生たち！

激動の時代を英語とともに

歌人 川村 喜美猪
(昭和 18 年 9 月 専英卒)



私は太平洋戦争勃発の前年、昭和 15 年に英文予科に入学しました。翌年、本科に進み、戦争が熾烈さを増した 18 年 9 月、6 カ月の繰上げで卒業しました。

戦時でしたから、卒後軍需産業に徴用されるので母校へ行き、教師の職を申し出ましたところ、英語は廃止で教科が無いとのこと。校長先生のご紹介で、同盟通信社宇都宮支局で働くことになりました。本社から送信される電文ニュース、たとえば「テンノウヘイカ リクノハウスウヲ ミソナハセラル」を漢字と平仮名の新聞記事に直すのが仕事で、いち早く翌朝の新聞の内容を知ることができ、少々得意でした。モンペを履き、煎り豆持参の通勤。そして、昭和 20 年 7 月 12 日の宇都宮空襲で社屋機械すべて壊滅状態となり、終戦を迎えました。

間もなく連合軍が進駐し、米軍の軍政部が宇都宮にも設置されました。英語のわかる人間が急遽必要となり、県知事の肝煎りで宇都宮英語専修学校が設立されました。そこに招かれ、戦中英語を学んでいない中学校女学校卒の百名程の生徒を一年余り教えました。

昭和 22 年、TMGT (栃木軍政部)

の CIE (教育情報課)に移り、戦後の日本民主化のお手伝いです。午前中は地方紙の主要部分を英訳し、英文のダイジェスト版を制作。午後は米軍の教育官と一緒に各学校を回り、アメリカの教育や PTA づくりなどを話し合う通訳を担当しました。婦人参政権が与えられるなど、新しい時代が始まろうとしていました。

軍政で 2 年 6 カ月働き、米軍引き揚げを機に結婚。トヨタに就職した主人と上京しましたが、世は戦後の混乱の真っ只中。次々に生まれた三人の子どもが疫痢やジフテリアに罹り、家には泥棒が入り、街ではスリに会うなど、大変な毎日でした。長男が中学に入ると、自分の子どもたちに教えるかたわら、中高生のための塾を始めました。主人が退職するまでの 30 年間、家事と両立させ、頑張りました。一方コーラス、短歌、スキー、ピアノ、習字、社交ダンスなど、寸暇を割いて楽しみました。スキーやダンスは 62 歳を過ぎてから始めたのですが、いまでも年齢の割りに体がよく動き、転ぶことも少ないのは、そのためかもしれません。

短歌を始めてから、ほぼ半世紀になります。「みすまる」「太陽の舟」「りとむ」に所属し、詠草メ切に迫ら

れながら、とにかく続けてきました。12 年程以前から日本歌人クラブにも入り、タンカ・ジャーナル部門で英語短歌を発表。数年前に「ジャパ・タイムス」に私の数首が掲載されたことがあります。

2006 年にハワイで開かれた第 5 回国際交流短歌大会では新聞社賞をいただき、昨年はシカゴの「POEM THE WORLD」という季刊誌に次の一首が選ばれ望外の喜びでした。

生き残る誰にか電話かけやらむ
桜(はな)過ぎゆきて人恋ふ心
wish to telephone
someone I know
feeling lonely this evening
when the cherry blossoms
have all passed away

同窓会館での輪読会にも入れていただき、英書に親しんで参りました。また、結婚 55 年の記念に世界一周の船旅に出かけ(平成 15 年 12 月～翌年 3 月末)、その間の短歌、随筆、英短歌などをまとめて『VOYAGE』を出版しました。

88 年、本当に忙しく生きてきたように思いますが、現在は卒寿の夫とともに、一見平和な生活を過ごしております。(かわむら きみい)

いま、この時を一生懸命に

宮城文化服装専門学校・名誉校長 飯岡 絹子
(昭和 20 年 専家卒)



第 2 次大戦後の昭和 20 年に卒業後、宮城文化服装専門学校を創立し、校長を経て現在、名誉校長を務めております。

過去の災害を生き延びさせてくれた社会に対し、お返しをと思い始めた募金会会長も 12 年になりますが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災では、当校も被災しました。「明日があればよい」と考えがちですが、

3.11 はそれを許してくれませんでした。

そんな私が、実践女子大学で学ぶ在學生に申し上げたいことは、何となく学校に行っているのでは駄目だということです。日々、どれほど真剣に勉強しているかが大事なのです。明日はないと思って、勉強していただきたいのです。何事があったてからは遅いのです。

青春時代にしっかりと自分の人生設計を考えておくべきだと思います。

これからも、私は残された人生を一生懸命に生きていくつもりです。(いいおか きぬこ)

[役職・叙勲]
文化服装学院常任理事、宮城県共同募金会会長、仙台商工会議所女性会顧問、東北方面自衛隊女性会顧問、他
藍綬褒章、勲五等宝冠章を受章

実践は私の染色人生の原点

染色家・工房「遊草庵」主宰 安藤 宏子
(昭和 39 年 大被卒)



風シリーズ
(春風)

高校生の頃から、上京したら染色を始めようと密かに決意し、実践女子大に入学後、直ちに染色研究会に所属しました。

当時の顧問は大村ちかじ先生でしたが、4 年生の時に大変有名な染色家、高久空木先生を迎えて下さり、このとき半年かけて帝国ホテルで開かれる、卒業謝恩会で着る訪問着を染め上げました。下宿の狭い 4 畳半に、伸子に張った一越縮緬の反物を天井一杯にめぐらし、その下で生活したことを今も懐かしく思い出します。

卒業して帰省する時、大村先生が豊橋の愛知大学に教授として赴任することになり、故郷へ向う私も同じ東海道線で豊橋まで同行することになりました(新幹線が開通する以前のことです)。

大村先生から大学を見て行きなさいとお言葉があり、お供をすると、驚いた事に既に私の就職と下宿先も決まっており、初めての地・豊橋で 3 年間勤務することになりました。この愛知大学勤務時代に名古屋の有松・鳴海絞りの産地を見学して、後のライフワークとなる故郷大分の「豊後絞り」との出会いがありました。

また、実践で講義された東工大の飯島俊郎先生には卒論までお世話になり、4 年生の時には染料の実験で東工大に通いました。後に飯島先生が、実践女子大学の学長を勤められたことはご承知の通りです。

1989 年に名古屋で開催された「世

界デザイン博覧会」で名古屋市館の天井を飾る、400m の絞り染の幕の制作委託を受けた時も激励していただき、『日本の絞り技法』(1992 年)上梓の際には巻頭のお言葉を頂戴しました。日頃から軽妙なジョークを交えたアドヴァイスや、折りに触れ適切なご教授を賜り、私の人生の進路をお示しいただいた生涯忘れえぬ恩師の一人です。

2001 年ドイツのデュッセルドルフ市に近いクレフェルト染織美術館(江戸時代の茶屋辻の着物も所蔵する有名な美術館)で、「日本の絞り」の企画展が開催されました。歴史ある染織専門の展示室一杯に私の作品が綺麗に並び、斬新なディスプレイに感嘆しました。オープニングパーティには自作の紡ぎ手筋絞りの着物で出席したのですが、館長を初

め学芸員からその着物を資料として置いていくように請われ、着物から、帯も草履もと身ぐるみ剥がれてしまいこれには困ってしまいました。

帰国して恩師の学長・飯塚幸子先生を日野の校舎にお訪ねしたとき、その話になり染織美術館へ日本として恥ずかしくない物を贈りたい、と思案していることをお伝えすると、お嬢様の成人式で誂えた立派な着物一式を寄贈していただき感激いたしました。後日、染織美術館で日本の

着物展を開催し、この着物を展示したとの嬉しいご案内が届きました。このように、私の絞り染三昧 50 年の生活で大きな節目の度に、母校でお教えいただいた恩師や同窓の先輩、友人達が力強く支えて下さいました。

現在は世界の絞りの執筆を試みています。アフリカ、インド、中国、インドネシア、アンデスなどの素晴らしい手仕事を学ぶとき、精緻な刺繍、編み物、織りやパッチワークな

どに出会います。それらを見分ける力は座学で得た知識だけではなく、若い時代に実技として手を動かし学んだことが大きいと思っています。今、文を書きながら改めて母校と、恩師への感謝の気持ちで一杯になりました。本当にありがとうございました。母校の益々の発展をお祈りしてペンを置きます。

(あんど う ひろこ)



箏曲演奏家・宮城社大師範・東京芸術大学講師 佐野 奈三江
(昭和 41 年 高校卒)

箏に魅せられて

私が「箏」という楽器と出会ったのは、実践に入学した中学一年生の時のことでした。何のクラブに入ろうかなと考えていた私に、「お箏のクラブはないの?」と聞いたのは、この春百歳で亡くなった母でした。「あるみたい」と言った私に「生田流で宮城道雄先生の系統かどうか聞いてごらんなさい」という母の言葉に素直に従い、箏曲班生田流に入部しました。

専門家としてはとても遅いスタートだったのですが、以来、一度も止めようと思うこともなく、箏は生活の一部となってゆきました。

高三の夏、進路を決定するギリギリの頃になって、就職するという私に、また「芸大の邦楽科はどう?」と

いう母の一言。「えっ、お箏で行ける大学があるの!」と芸大の難しさも知らず、この時もすっかりその気になりスイッチが入っていました。

幸い、部活の指導にいらしていた先生方も芸大の卒業生で相談に乗ってくださり、すんなり受験生の道を歩き出すことができました。一年浪人して合格。この頃は、一日に何時間あっても時間が足りない程、弾くことが楽しくて楽しくて箏・三絃にあげくれる毎日でした。卒業後も学生時代の延長で、すべてが箏中心。師匠、先輩、友人と周囲の人にも恵まれ、振り返ればもう五十数年この道一筋でまいりました。

日頃は演奏会に出演したり、教えたりしておりますが、教育者であつた祖父の影響でし

ょうか、私は教えることも大好きで、母校のクラブ、三十代からは邦楽科のある音大の講師も

務め、現在は、芸大の講師としてプロを目指す人たちの指導に当たっています。

平成 12 年から中学校の音楽カリキュラムに邦楽器の体験が必修となり、小・中学校で鑑賞・体験教室を開く機会も増えてきました。子供たちは本当に真摯に、まっすぐな目と心で聴いてくれます。一人でも多くの子供の記憶に残るようにと演奏しています。

母校実践でも中・高・大学とクラブ活動が長年続いていて嬉しいのですが、大学の渋谷移転で部室の確保が問題となり、存続を憂慮しております。

箏は一面ずつ木目も違いますが、出てくる音色も違い、また弾く人によっても様々な音色を奏でます。日々の悲しかったことなども吞み込んで、弾いている間は全て忘れ、楽器さえあればなんでも乗り越えてこられました。

歳を重ねるに従い、さらにこの楽器の奥深さ、楽しさを感じております。皆さまにもいつか箏の音色をお聴きいただきたいと願っております。(さの なみえ)



地域の食育や介護予防のために

(有) ライフサポートみつま代表取締役 三津間 通
(昭和 43 年 短大生活科卒)



卒業後、一貫して企業や行政の給食管理と健康づくりの現場で働いてきました。衛生管理者の資格や、当時まだ必要ではなかった管理栄養士免許を取得したことは、専門職として長く働く力となりました。

定年後も働きたいと早期退職し、小さな会社を立ち上げ、在職時と同様、企業やクリニックでの健康管理に携わっています。川崎市内で長く

勤務しましたので、自分自身が高齢者となった現在、川崎市の介護予防・食育推進の委員を引き受け、また栄養士会員として地域住民のための健康づくりに携わることが多くなりました。

少子高齢化社会が進む中、食育や介護予防、健康づくりは大きな社会的要請になっています。これからも、地域に根ざした活動を通じて、健康

で安心して過ごすことができる社会づくりに貢献していきたいと考えています。(みつま みち)

[受託委員・表彰]
川崎市食育推進会議委員、
川崎市介護保険運営協議会委員、他
公衆衛生事業功労者表彰、
厚生労働大臣栄養改善事業表彰

海外に日本の伝統文化、香道を紹介

国文科、被服科の卒業学生は、有職故実、服飾史、聞香論など公家文化の世界を三条西公正(御家流家元 21 代宗家・堯山)先生から教えていただきました。現在も、直接三条西先生のご指導を受けた「実香会」の皆様が、同窓会館、国内、海外で広く活動されています。

丸山 順子 まるやま じゅんこ

(師範 堯雪、昭和 46 年 短英卒、
慶應義塾大学文学部卒)



学園高等学校に入学後、書家・金子鷗亭に入門。同門の大賞、理事長賞等を受賞。香席ではの

びのび生き生きとした美しい奉書にお目にかかれます。短大在籍中に、三条西先生の香道研究会に入会。30 代で師範となり、1982 年、NY 国連本部、米国コロンビア大学等で、海外初の香道デモンストレーションに参加。以後、ハンブルグ、ブダペスト大学、シカゴ、イリノイ大学、南仏や上海(本年 6 月)で香道を紹介しています。

三条西先生が「彼女は大器晩成型」と称されたとおり、時間をみつけながら、源氏香を題材に慶大文学科を卒業。今は香書を学ぼうとしています。

過言すれば、三条西流(御家流)の香道、日本の伝統文化の伝達は、実践からも発しています。では、海外で香道文化を紹介されている、お二人の同窓生をご紹介します。(卒年順)

小畑洋子 おばた ようこ

(師範 晁湜、
昭和 53 年 大國卒)



実践女子短大講師。日野の短大、学習センターでご存じの方が多いでしょう。国内はもちろん、海外でも滞在地に香道具を肌身離さず持ち歩いているとのこと。

1982 年に夫の赴任地ドイツの「独日協会」で香道を紹介したのが、現地の新聞に掲載。その後、日本週間ではドイツ国内各地を廻り、彼らを前にして香道の所作やしきたりを、自作のドイツ語テキストを用意し、紹介したそうです。現在も日本に滞在中のドイツ人やそのご家族に教えています。来年 1 月も新年にちなんだ香席や日本の伝統文化を各国の外交官夫人に紹介する企画を構想中です。

日本語教師奮闘記 ???

2007 年短大 / 大学レベル全米最優秀日本語教師賞受賞 中野 眞佐子
(昭和 48 年 大英卒)

米国コロラド州の大学で日本語を教え始めてから四半世紀が過ぎました。1800 年代後半に農業校として始まった理工系中心の研究大学で、初めて日本語クラスが設置されたのが 1988 年でした。何も分からず飛び込んだアメリカの大学でしたが、実践で教職課程を修了し、教育実習などの経験をしたことが役立ちました。

その後、日本語を希望する学生数は順調に増え、3 年後には副専攻として認定されました。アメリカの大学には専攻とは別分野で、一定単位を修得することにより得られる副専攻というのがあります。学生たちから日本語が副専攻できるようにしてほしいという要望があり、署名を集めて請願書まで作りました。それを持って私の所属する外国語・外国文学科の科長にかけあい、大学にしては異例の速さで日本語副専攻が誕生しました。当時はまだワープロが使えることにワクワクしていた時代。ランゲージラボで日本語が使えるようにするまで、ヨーロッパ言語の何倍もの時間と労力が必要でした。

また、今では考えられないことですが、ドイツ語、フランス語、スペイン語などの専攻にも交換留学の提携校も確立されていませんでした。それどころか、大学自体に留学セン

ターもなく、ディレクターもいない状態です。いかに国際化に遅れをとっていたかがよく分かります。

そんな中、私は日本の大学で交換留学ができそうなところを探し、外国語・外国文学科で最初の交換留学制度を確立しました。「語学学習に留学は欠かせない」という信念から起こした行動でしたが、根底に流れるのは「何が学生達(学習者)のためになるのか」ということだと思います。これは教え始めた当初から今も変わりません。そして、25 年間、模索状態は続いています。外国語習得の様々な理論、教授法、教材開発などを参考に、楽しくかつ効果的な日本語教育を目指し、指導にあたっています。その一環として 2004 年に歌舞伎スタイルの「マクベス」、2008 年と 2009 年には、能・狂言・歌舞伎スタイルを取り入れた「真夏の夜の夢」を学生達が日本語で演じました。

その後もミニシアターワークショップと称し、演劇をとり入れた語学教育に取り組んでいます。また、普段の授業でも、学生達に教科書に掲載された会話を演じてもらいます。会話から読み取れる全ての要素を考慮に入れ、場面に適した演技をしなければなりません。さらには、登場する人物の上下関係や感情などが変



わった場面などにも挑戦します。

宿題も多く、猛スピードで進む授業についてくるのは容易ではありません。それでも学生達はなかなか意気軒昂、必死でがんばります。日本語弁論大会での入賞や、語学力と日本に対する知識を競う大会などでの連勝、日本文化紹介のイベントへの参加、日本からのシニアボランティアの授業参加なども、学生のモチベーションを高める効果があります。

日本語教師の日常は、なぜ「あいいうえお」の順番なのですか、なぜ「すみません」は「excuse me」「thank you」「I'm sorry」と全然違う意味になるのですか、など文化や視点の違いから通常考えたこともないような質問も出てきます。

下田歌子先生『遺訓』のはしがきに「…生死の境にあって唯其の教へ子の上にのみ思を馳せられた慈愛限り無き御生涯…」とあります。私などはとても下田先生の足元にも及びませんが、一教育者として教え子への思いを強く持ち続け、精進していきたいと改めて思う今日この頃です。
(なかの まさこ)



北原白秋、没後 70 周年

—九州から白秋の世界を発信—

佐賀女子短期大学教授 横尾 文子
(昭和 48 年 大国卒)



2011 年 3 月 11 日。夢にも信じられない東日本大震災が発生しました。直後から、テレビコマーシャルは鳴りをひそめ、広告業界 AC ジャパン(旧公共広告機構)の CM は金子みすゞの「こだま」を流しつづけていました。自ら虚飾を自重しようとしていたのだろうかと思われました。

あの大震災を経て「言葉の力」が気になっております。NHK 教育テレビの「にほんごであそぼ」(2003 年～)をインターネットで検索してみました。北原白秋の「お月夜」が放映されるころ、次の時代に遺したい名文をとりあげたいとの担当ディレクター氏のお便りを思い出したからです。

2012 年 6 月のネット検索では、最多は白秋 18 件でした。小林一茶 17 件、宮沢賢治 15 件、金子みすゞ 13 件、松尾芭蕉 11 件の順位でした。少し、嬉しくなりました。このようにチョッと嬉しい時、今でも国文の詩歌文学研究室副手時代にお教を

受けた木俣修先生(白秋の筆頭弟子)や福田清人先生(日本児童文芸家協会会長)に話しかけたくになります。

アア、本編集部のご意向とそれてしまいました。お問い合わせは、今、ソナタは何をしてオジャル?でありました。そうです、本年は白秋没後 70 年であります。

2002 年の没後 60 年の際は、テレビ東京系列で、さだ・まさしさんを案内人にした 90 分番組「新世紀人トンカ・ジョン」を監修。2008 年には、白秋の後押しで日本詩壇に躍りでた韓国詩人・金素雲の生誕 100 年を記念したドキュメンタリー番組「日よ日よ紅え日よ 詩人金素雲の生涯」の監修。2010 年には、柳川白秋会のご支援を得て日本比較文学会九州支部大会を柳川で開催。国際比較文学会名誉会長の川本皓嗣先生に、白秋についての基調講演をたまわりました。

白秋没後 70 年の今年は、もう広

報活動のチカラ尽き、ナッシングです。ただ、今春、川本三郎氏が『白秋望景』(新書館)を刊行されました。すばらしい、これまでにない評伝でしたので、一面識もないのにファンレターを出してしまいました。その後、伊藤整文学賞を評論部門で受賞されたようですが、伊藤整は木俣先生や福田先生と親交のあった評論家です。素敵なお仕事をことごとく一読者としての日々を、ただいま、満喫しております。(よこお あやこ)

●著書

『風囃日 白秋うたごよみ』(樹花舎 1992)
『北原白秋』(西日本新聞社 1994)

『白雨コレクション 蒲原信一郎のみずみずしさ』(佐賀新聞社 2003)

●共著

『新・肥前風土記』(NHK 出版 1990)
『トンボと自然観』(京都大学学術出版会 2004) etc.

研究者としての貴重な思い出は、鳥居フミ子先生退職記念『伝統と創造』(勉誠社 1996)に「北原白秋、その精神の軌跡」を寄稿させていただいたことです。

琉球芸能の舞台制作という仕事

琉球芸能プロデューサー 大野 順美
(平成 9 年 大美学美術史学科卒)



“沖縄で暮らしている”というだけでも珍しいのに、私はさらに珍しい仕事をしている。琉球芸能のプロデュースである。昔から沖縄に縁があったわけではなく、私と琉球芸能を結びつけたのは、実践女子大学であった。

幼い頃から絵を描くのが好きで、中高と実践を卒業後、大学はもちろん美術史学科に入学した。はじめは

仏教美術に惹かれたものの、担当教授が急逝され、専攻を変更することになった。そのとき出会ったのが日本の民俗芸能である。

当時、地方出身の学生はたいいてい郷土の芸能を卒業論文にしていたが、私は神田生まれの江戸っ子 5 代目で、親戚も全員東京だからいわゆる“帰るいなか”が無い。ならばいつ行ったことのない土地を、と偶然

選んだのが沖縄だった。当時の担当教授の三隅治雄先生は、偶然にも沖縄芸能のエキスパートであり、その時の卒論テーマである沖縄の古典演劇「組踊」が、紆余曲折あって現在私の生業になっているのだから、運命的なものを感じずにはいられない。

卒業後は 1 度も大学に足を踏み入れていなかったが、今年の 6 月 30 日、市民公開講座で、私が助監督を担当

した映画「よみがえる琉球芸能 江戸上り」を上映させていただき、ようやく学び舎に恩返しができたような気持ちになった。助監督という聞こえは良いが、映像の仕事はこれが初めてで、私の本業は舞台制作である。

舞台制作といっても、大道具を作るわけではない。プロデュース、マネジメントと呼ばれる仕事で、企画立案から資金調達、広報宣伝、チケット販売から技術や演出との調整、出演者のケアなど、何から何までやらなくてはならない。

琉球芸能界では、舞台制作が専門職として成立していなかった。しかし、琉球舞踊が国指定重要無形文化財となり、組踊がユネスコ無形文化遺産に登録された今、琉球芸能家が己の技を磨き、高みを目指すためにも、舞台制作が専門職になることが喫緊の課題である。だからこそ、私はこの道を選んだ。

劇場勤務ではないフリーランスで琉球芸能の舞台制作をしているのは、現在おそらく沖縄県内で唯一人だが、この仕事で生活できるのだと

自分の体をもって証明できれば、いずれこの職業を目指す後進たちが現れるだろう。低収入や不安定という不安要素もあるが、どこかに勤めるだけが仕事ではない。仕事は自分で創り出せるということを、後輩たちに伝えたい。（おおの まさみ）

●近年の主な活動

新作組踊のロサンゼルス公演・京都公演・世田谷パブリックシアター公演や、沖縄アジア国際音楽祭沖縄の古謡コンサートなどをプロデュース。沖縄タイムス「唐獅子」コラム連載、国立劇場伝統芸能資料館特別企画展「琉球王朝の華 組踊と琉球舞踊」展示解説などの執筆も行う。



中央が鈴木さん

し、栄養士として3年間の実務経験を積んだ今年3月、管理栄養士の資格を取得しました。

現在は、縁あってプロ野球某球団の、選手の食事管理、栄養面でのサポートをしています。具体的には合宿所の厨房で、和洋中さまざまなジャンルの食事を手作りで美味しく、且つ、彩りや盛り付けに考慮して提供しています。調理以外にも選手のコンディションや体調を考慮し献立を立てています。

現場で起こることは必ずしも教科書通りではありません。人それぞれ性格が違いうように、食べ物が体の中に入って起こる化学変化も精神的な状態などによって違うので、とても勉強になります。なるべく選手とコミュニケーションをとり、様々なことを考慮した料理を厨房スタッフ皆で試作し、反応を聞くなどして努力しています。病院とは違い、特定の栄養素をコントロールするようなことはありませんが、シーズンは長く、スケジュールも過酷なので、疲労回復やコンディション作りの土台になる食事を提供することがスポーツの



輝くひとスペシャル

加瀬和子国文科会会長 記

山崎 暁子 やまざき あきこ
(昭和23年 専国卒)



書家。財団法人毎日書道会常任顧問。女流かな書の第一人者、熊谷恒子に師事し、師亡き後の現在、「明日香会」を主宰し、典雅流麗なる“かな書”の指導に当たる。毎年、銀座鳩居堂にて実践同窓生を含む会員の書道展を開催。2012年、国立新美術館に於いて「熊谷恒子の世界」特別展の実行委員長として100余点の作品、遺品の公開を成功させられた。

大谷 香代子 おおたに かよこ
(昭和49年 大国卒)



香道御家流、和草会主宰。日本香道協会会員。冷泉家玉緒会会員。元出雲市教育委員会委員長。在学時、クラブ活動の香道研究会に入部し、三条西(公正)堯山先生の指導を受け宗家堯山先生亡き後、堯雲先生について出雲文化伝承館にて香道を広く開筵。以降文化庁の委託を受け各所で伝統文化としての香道教室を開く。現在は和草会を主宰して日本の伝統文化―香道を次代へと継承させていくことをライフワークとしておられる。

中島 道子 なかじま みちこ
(昭和23年 専国卒)

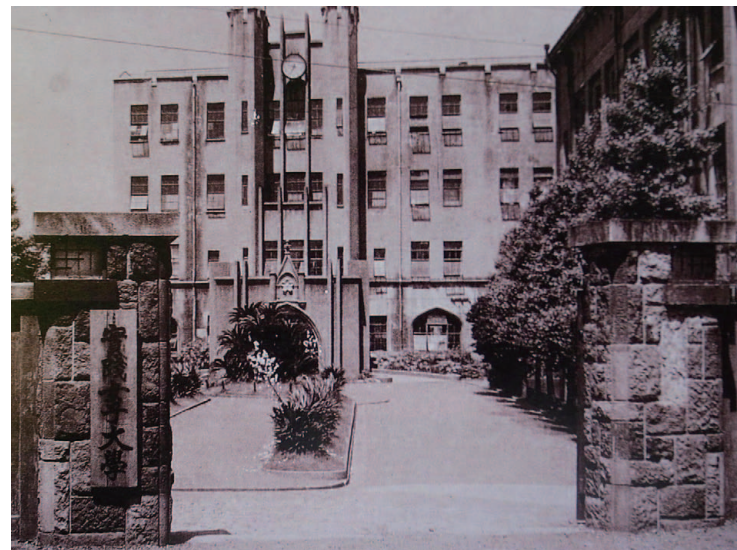


作家。明智光秀公顕彰会副会長。日本ペンクラブ会員。歴史ものを得意として著書多数。「岩佐又兵衛―怨念の絵師」「徳川三代と女房たち」「それからのお市の方」「お江―波瀾と愛憎の生涯」等。また、いろいろな団体からの講演の招聘を受け、前年(平成23年)国文科会でも、お江の生涯についての講演会を開催した。

有賀 暁子 あるが あきこ
(平成17年 大国卒)



NHKテレビ体操インストラクター。毎朝3人1組で体操の実技に出演されている。出演者がそれぞれ名前を名乗る時の明るい顔が印象的。すっと伸びた若い体が伸びのびと体操をする姿に思わずリズムにのって体を動かしたくなる。年齢に関係なく無理なく家庭でも体操を続けてほしいと言われる。ご要望があれば、出向いて指導して下さるとのことです。



滋谷キャンパス正門と陸奥記念館
(昭和26年頃)

支部だより 2012



TVは報道しなかった。
ロンドンオリンピック

英国支部

開会式前日

啓子 Morrison (平成10年 大英卒)
開会式前日の7月26日、ストラットフォード(オリンピックパーク)へ行きました。ロンドン市郊外に暮らす友の一人が、パラリンピックのチケットを取りに行くというので、開会式には参加できないけれど、その雰囲気だけでも…と思い出かけました。写真は、正にカウントダウンが始まった、その時のタウンの顔です。

午後5時から7時前まで約2時間、長い列に並んでチケットを入手しました。びっくりしたのは、午後6時半を過ぎて、まだゲイト付近でペンキ塗りをしている人がいたことです。他の工事がようやく終わり、やっとペンキ塗りにとりかかったような…。友と顔を合わせつつ、『うーん、何とも英国的、明日開会式…だね。明日と言っても夜の9時だしね』。

ロードレース

桂子 Holt (昭和54年 大英卒)
140 kmにわたるレースコースは、ロンドン中心地区から南西区サリー州

を回り、途中で登り降りの厳しい丘陵を2周して、3～4時間でロンドンに戻るといふもの。男子のレースは土曜日、女子は日曜日にあり、レースコースとその周辺の交通はすべてシャットアウト。コース沿いに住んでいるお友達は、車がまったく出せなくなり、「レース中は身動きが取れないわ～」と言いながら、応援を楽しんでいました。

コース沿いの家々は、生垣や塀をさまざまなサイズのユニオンジャックで飾り立て、走ってゆく選手にはとてもフレンドリーな雰囲気でした。日本からも女子選手がひとり参加していたのですが、コースと天候の厳しさで、途中棄権してしまい残念です。

なでしこジャパン

松嶋みどり(昭和49年 大被卒)
ロンドンから西に2時間ほど列車に乗るとカーディフに着きます。なでしこジャパンとサウスアフリカの試合がミレニアムスタジアムで行われることを知り、出かけました。試合は澤選手が出場せず、ちょっと残念でしたが無難に引き分けでした。

興味深かったのは、試合前のウォーミングアップの方法が対照的だったこと。日本の選手は、沢山のボールを使っ



て、パス回しやシュートの練習に終始していました。それに比べ、サウスアフリカは柔軟体操に走り込みといった基礎運動を入念に行っていました。ボールは数個しかなく、一部の選手のみがシュート練習。『監督で全く違う』と聞いた事がありますが、国の事情でも違ってくるのではないかと感じました。

札幌支部

佐々木靖子
(昭和36年 大食卒)

ハワイアン・ミュージックで癒しのひと時



ハワイアン・ミュージック演奏会 (平成24年 6月17日)

4月に入っても雪が降る異常寒波や爆弾低気圧等不安定な天候が続いていた札幌も、やっと春らしい日差しが訪れました。

支部総会を開催したのは6月17日。一般社団法人となった校友会の臨時・定時総会の報告をはじめ、新校友会館の件、創立120周年記念募金の件、役員改選等、時間が足りないくらい話し合いが行われました。

親睦会の後は、ひと足早く夏を感じられるハワイアン・ミュージック演奏会を一般の方40名の参加を得まして開催しました。札幌ではあまり聴く事のできないウクレレの演奏と歌で癒しのひと時を過ごし、来年の再会を約束して終了いたしました。

函館支部

宮越泰子
(昭和34年 大英卒)

懐かしい学生時代の思い出に話が弾む

爽やかな夏を迎えた7月1日、函館支部の懇親会が西部地区「富茂登」にて開催されました。この会のために遠方よりいらした方を含め8名の出席でした。

はじめに5月の総会に出席された宮腰支部長より本部の様子などをお聞きいたしました。その後、季節感あふれる和食をいただきながら、会員の近況、それぞれ学生時代の懐かしい寮生活の思い出に話が弾み、あっという間に楽しい時が過ぎ、また来年の約束をしながらの解散となりました。

以前は出席され、最近はお休みの方、また新しい方々もぜひ出席されますよう、お待ちしております。

(文責 函館支部 本間佳子)

岩手支部

清水キミ子
(昭和41年 大被卒)

支部創立30周年を祝って



本年は岩手支部の創立30周年にあたり、6月24日に一般公開記念講演会を盛岡劇場中ホールで開催しました。講師に大学英文科卒の童話作家茂市久美子様(岩手県宮古市出身)を招き、『童話への思いを語る』の演題で講演をしていただきました。

会場は満席で、60余名の市民が聴講。茂市様のお人柄がいっぱい溢れ、心むむ童話の世界に浸るひと時でした。

さらに、この春、全国朗読コンテストで金賞を受賞した同市小6の金奈々美さんが茂市様の童話を再演。その後、同窓生16名の出席で、総会とお祝い会を開催。年代を超え、30年の歩みの重さと同窓生同志の絆を強くした素晴らしい集いとなりました。

宮城県支部

渡辺恭子
(昭和39年 大國卒)

仙台弁での講演を聞く会を開催



昨年は震災のため休会となった宮城支部総会が今年2年振りに開かれ、お互いの無事を確認しあいました。

講演会の講師は、昭和49年大学家政科を卒業した渡辺裕子さん。アナウンサー、教職を経て、今は大学で講師を務めるかたわら、仙台弁の良さ、楽しさ、残すことの大切さを指導しています。懐かしく暖かな仙台弁での講義は

終始笑いにあふれ、美味しく楽しい同窓生の集まりでした。

「おみょうにち(また明日ね)」で会を終りました。

秋田支部

境田幸子
(昭和48年 被大卒)

一般の方も参加したフラワー教室

昨年秋に開催した総会では、会員を講師に「アレンジフラワー教室」を開催し、一般の方の申し込みもあり、花を囲んでの楽しいひと時を過ごすことができました。

総会案内の返信には、いつも近況報告を添えていただき、また終了後の総会報告の到着を楽しみにして下さる会員もいらっしゃいます。

年々参加人数が少なくなる傾向に危機感を感じていますが、今度は会員を講師にした講話会・総会にしたいと考えております。

発足して50余年となりました今後は、諸先輩の思いを伝える会を開いてみたいとも思っています。

山形支部

公平恵子
(昭和42年 大食卒)

新会員も参加し、「夕鶴」の世界にひたる



平成の星3名を迎え、20名の出席者のもと今年も支部総会が盛大に行われました。

会議の後の催しでは「むかしあったずなあ」で始まる「鶴の恩返し」の話が披露され、しばし民話の世界にはまっていきました。

午後は夕鶴に深い関わりを持つ鶴布山珍藏寺を拝観し、豊かな気分になりました。

数日後、新会員からお手紙が届きました。『この度、実践校友会に初めて参加させていただきました。素敵なお先輩方とお会いすることができて、楽しい時間を過ごすことができました。…』

福島県支部 大内友子
(昭和45年 被大卒)

2年ぶりの総会に いわき市の会員も



去る6月24日、福島市ホテル辰巳屋において、平成24年度の支部総会を開催いたしました。

昨年度は、東日本大震災後の影響により、取り止めにいたしましたので、2年ぶりの開催となりました。

出席者は5名でしたが、いわき市在住の会員も参加してくださいました。総会終了後に、「香を聞く会」を催し、雅なひとときを過ごしました。来年度は、出席者が増えることを願っています。

茨城支部 篠崎和子
(昭和38年 大食卒)

苦境の中でできること —総会とコンサートを開催



昨年の大震災、原発の脅威から少しづつ立ち直りの兆しが見えはじめた矢先、5月6日の日本最大の竜巻がまた茨城県を襲いました。精神的にも経済的にも打ちのめされた中でも、自分達のできることをしようと、支部総会とコンサートを開催いたしました。7月1日、水戸市のレストランで開かれた総会は、午前中に滞りなく進行し、午後はピアノとトランペットの演奏に、しばし酔いしれたことでした。

会員16名と地域の方々13名が出席され、中にはこの行事をとても楽しみにされている方もおられます。

栃木県支部 池島敬子
(昭和49年 大英卒)

福島県大内宿で 名物の蕎麦をいただく



昨年10月16日、平成23年度総会を開催いたしました。総会后、福島県大内宿に向かい、名物のねぎの箸で食する蕎麦をいただきました。初参加の方とお話していると、同時期に日野寮で生活していたことがわかり、お互い、当時の話で盛り上がりました。今年の総会は、10月14日に佐野方面に出かける予定です。

群馬県支部会 星井信子
(昭和41年 大國卒)

心なごむ、 温かい交流の場に

実践桜会群馬県支部会では、6月17日、ホテルメトロポリタン高崎において支部総会並びに講演会、懇親会を実施いたしました。

講演会は足利市徳蔵寺住職・源田晃澄様をお迎えし、「人生から学ぶ心と絆」と題し、心にしみるよいお話を伺いました。

また、秋には支部研修旅行として伊香保温泉を訪ねることになっております。少人数の会ではありますが、心なごむ、温かい交流の場にしたいと願っております。

埼玉支部 小河原俊子
(平成4年 院食修)

湯浅学長を お迎えして開催



6月23日、湯浅茂雄学長、内田雄介学長秘書をお迎えし、第16回総会・講演会を埼玉会館で開催いたしました。

ご来賓の皆様から、それぞれ貴重なお話をいただき、特に湯浅学長からは学園の現況を具体的にお聞きすることができました。平成26年に大学・短大の一部が渋谷キャンパスに移転します。それに伴い、日野キャンパスは新しい形に生まれ変わり、渋谷は文系の学舎として新たな知の拠点として高等教育を展開する…など、21世紀の大学の教育改革をお聞きしました。同窓生一同、その発展を支援してまいります。

「塙保己一と群書類従」と題した長谷川典明氏のご講演は、新たな視点からのお話で感銘を受けました。

本年10月3日、「彩の国めぐり」として本庄高窓の里(養蚕の村屋敷)とサザエ堂等を訪れます。ご参加をお待ちしています。

千葉支部 福村和子
(昭和32年 短被卒)

学祖の偉大さに 思いを馳せる



平成24年5月27日、湯浅学長、浦上実践桜会理事長をお迎えしての第9回総会は、天候にも恵まれ、晴ればれと催されました。

講演は、文学部教授の池田三枝子先生。ご専門の万葉集の御講話と学園校歌を解説していただき、心新たにその想いを味わい、改めて学祖の偉大さに感銘しました。

昭和14年専門家政を卒業され、92歳になられる大先輩、久茂好様がシルバーカーで参加下さいましたことも感激でした。

今後の活動のうち、年間行事は、
○新卒業生に祝い状を出す
○会報誌「ミルフィーユ」を年3回発行
○社会活動として学園留学生との交流
○県内8地区の各ネット活動を行う

同時に、来る第10回総会に向けての行事企画と、約4千名にのぼる県内卒業生の名簿整理を計画しています。

**小田原支部
実り会** 青木正子
(昭和41年 大被卒)

来年は 50周年を迎えます



5月20日(日)、平塚市神奈中グランドホテルにて「総会」「懇親会」「ヴァイオリンコンサート」の3部構成で支部総会を開催しました。

当日は、年代を超え、多くの方々がご出席下さいました。それぞれが、学生時代の思い出に花を咲かせ、とても楽しいひと時を過ごし、親睦を深めることができました。

来年(平成25年)、『実り会』は、50周年を迎えます。秋にお祝いの会を開催したいと考えております。日程が決まりましたら、ご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

近隣にお住まいの方、ぜひ支部へのご入会をお待ちしております。

連絡先:青木正子

☎ 0463-31-3030(夜間)

山梨県支部 石川泰子
(昭和41年 大被卒)

コサージュ手芸を 楽しむ



7月4日、梅雨の晴れ間、会場は中村和子宅。お庭の美しいハーブが実践の卒業生の如く、楚々と美しく香りを添えて迎えてくれました。中村、大島両幹事に

よるお料理で昼食をいただき、思いがけなくお料理研修も受講しました。

午後は中村講師による「コサージュ手芸」。和服地、ドレス生地での実習は、「こうかしら、ねえ…これで良いのかしら」と和気藹々の雰囲気。中村講師は優しく対応して下さり、無事完成しました。コサージュを胸元に付け、互いに満足

の笑み・笑み。
先輩のお話に耳を傾け…お茶を楽しみ、終了いたしました。

「また、元気にお会いしましょう」を合言葉に、いただいたラベンダーの花束を大事に抱え、満たされた思いを胸に家路につきました。

長野支部 高松幾久子
(昭和44年 大食卒)

毎年変わる会場に 行くのが楽しみ



長野支部は3つのブロックにわかれて活動しており、総会は毎年持ちまわりで実施しています。一昨年は安曇野市、昨年は飯綱高原、今年は諏訪湖畔を予定しています。

毎年、ブロックの方々が工夫され、計画して下さり、県内でも行ったことのない場所も多く、参加するのを楽しみにしておられる方も多いようです。

今年は支部ができて33年。先輩の皆様が築き上げられた実践のつながりを、これからも大切にしていきたいと思えます。

新潟支部 寺澤昭子
(昭和41年 大食卒)

「女子教育の先覚者、 下田歌子先生を顕彰する」 講演会を開催

平成23年度の支部総会は、昨年10



月29日に行われました。実践女子学園の母体となった帝国婦人協会は、新潟にも設立されましたが、新潟の女子教育にどのような影響を与えたのか…。

青陵大学短期大学部・前事務局長の大谷一男先生に「女子教育の先覚者、下田歌子先生を顕彰する」のご講演をお願いしました。行事の一環ですが、同窓生以外にも、下田先生に関心を寄せる方々が多数参加して、盛会に終わることができました。



福井県支部 谷 洋子
(昭和42年 大食卒)

茶道美術館で 抹茶をいただきながら



新緑が梅雨に輝く6月24日、平成24年度総会を福井市愛宕坂・京懐石「離世」にて行いました。総会後の親睦会では、40～70歳代の7名が木々の緑に囲まれた中、福井市内を一望しながら京懐石をいただきました。和やかな雰囲気の中、近況などを語り合い、その後、正岡子規が絶賛し、クリントン大統領のスピーチにも引用された幕末の歌人・橘曙覧の資料館や、戦国の茶の文化などが紹介されている茶道美術館を訪問しました。

茶道美術館では、干菓子と一服の抹茶をいただきながら、梅雨の晴れ間にホッと和んだひと時をすごしました。

静岡支部 鏡島眞理子
(昭和52年 大被卒)

公開講座での「学び」を継続

静岡支部の活動は、発会当初より続けている公開講座が中心です。

この10年は、地域の人々と共に、とても難解な正法眼蔵を勉強してきました。八十五巻の中から、選んだ一巻を数回に分けて学び、継続しています。

今年度も、1月24日に開催します。蒲原梅花幼稚園の園児による食育発表と手作り昼食も用意してお待ちしていますので、皆様、ぜひお出かけ下さい。

●平成24年度支部総会：公開講座(11時～12時)後に開催：平成25年1月24日(木) 1時～

三重支部 竹腰 葵
(昭和44年 大英卒)

実践の思い出、同窓の懐かしさ

平成24年6月24日午前11時30分より「レストラン・タブロウ友三郎」にて、三重支部の総会を開催いたしました。出席者は7人。事業報告、会計報告のあと、フランス料理をいただき、懇親を深めました。それぞれの方のお話に耳を傾けながら、実践の思い出、同窓の懐かしさを感じました。

会食の後、四日市博物館学芸員、堀越光伸氏の「奈良末～平安初期の政争史」のお話をうかがいました。

●来年の総会：平成25年6月23日(日) 午前11時30分

楽しいひと時を一人でも多くの方とご一緒にと、お待ちしております。
連絡先：竹腰 葵 ☎080-1615-4888
email: aoi.takekoshi@gmail.com

関西支部 今泉恭子
(昭和48年 大英卒)

歌子先生の偉大さ、母校への誇り



平成23年10月14日、第79回総会・親睦会・講演会を古都の風情あふれる京都東山のイタリアレストランで開催しました。桜会の理事長・鍛島康子様をお迎えし、40名の会員の方が参加して下さいました。

大先輩・加藤和子様に歌子先生についてお話しいただき、改めて先生の偉大さを認識し、母校を誇りに思いました。講演会は、ミニコンサート弦楽四重奏を楽しみ、最後は「ふるさと」を皆で合唱し、とてもなごやかな雰囲気でご散会いたしました。

次回の総会は、平成25年1月12日(金)、京都で開催いたします。

岡山支部 谷本淑恵
(昭和54年 大英卒)

支部会の日はいつも快晴!



岡山支部ができて12年。毎年の支部会は、時には社会活動を賑やかに催したり、ざっくばらんな女子会になったり様々。場所も、岡山市内だけでなく、倉敷や、昨年は広島へ足を延ばしました。しかし…毎年、決まっていることがあります。それは“お天気”。

ずーっと晴れなんですよ。しかも、快晴! 倉敷で開催した時は、前日は台風のような暴風雨で、新幹線も止まってしまうほど。当時の理事長、若松さんも来られなかったかもしれません。日頃の行いが良いのか? 神がかりなのか? 12年も続くと、来年も“晴れ”を期待してしまいます。

そんな岡山支部は、岡山、広島在住の会員で構成されています。入会は随時OK。ご連絡お待ちしております。

山口支部 原田智津子
(昭和57年 大食卒)

実践のDNAを次の世代へ

山口県支部は、2年に1度、6月の日

曜日に、支部総会・懇親会を開催しております。

会員の高齢化で、出席者が減っているのは寂しいことですが、毎回とても楽しく有意義な時間を過ごし、実践の絆を深めております。

欠かさずご出席くださる先輩方の中には、わが支部最高齢の小山ミツ先輩(昭和7年卒)がいらっしゃいます。

慈愛に満ちたお言葉は、私ども後輩に、癒しと励まし、人生を前向きに生きる活力を与えてくださり、皆さん、一言も聞き逃すまいと、そのお言葉を一生懸命書き留めていらっしゃいます。

高齢化の心配とは逆に、このような大先輩がいらっしゃることは、わが支部の誇りであり、財産でもあります。

ぜひ、若い会員のかたにも、支部会にご出席いただき、今年度の定時総会で浦上理事長がおっしゃられた「実践のDNA」を繋いでいってほしい、そう強く願っております。

愛媛支部 城徳かをる
(昭和41年 短生卒)

卒業後、初めて再開した同級生も



前列右から二人目の白髪の方が上甲さん

平成23年度の総会は、道後の蔵元「にきたつ庵」で同窓会を開催。お互いの健康を気遣いながらも、会話がはずみました。

なかには、話している間に、卒業後初めて再会した、同級生だったことがわかったことも。授業・寮・学園祭・恩師の話など、思い出話で実践同窓生の諸先輩方との、時間も瞬間に過ぎていき、お互いの健康を願いつつ、散会いたしました。

次回の総会は、24年9月23日(日)に、松山で開催いたします。

追伸／この同窓会に出席した、100歳の上甲佐賀子さんが、10日後、逝去されました。毎年この会に、出席する

ことを楽しみにされておりました。いつも皆が元気をもらっておりましたが、残念です。

佐賀支部 溝上智子
(昭和36年 短生卒)

同窓会の絆を実感



季節が巡り、雨にぬれた紫陽花、花菖蒲の花のむらさき色が深みを増し、目を楽しませてくれています。支部総会並びに懇親会は48回を迎え、お豆腐料理を会食しながら、和気藹々とした中でお互いの近況を語らいながらの楽しい一刻でした。

散会后、欠席の先輩のお宅を訪問するグループもあり、綿々と続く同窓会の絆を垣間見たことでした。

次年度は温泉地での開催を提案し、会を終わりました。

長崎支部 仮屋蘭秀子
(昭和34年 大食卒)

今秋、アップルパイ教室を開催!

昨年、支部で長崎伝統料理(貝雑煮)をつくる会を催しましたら、長崎で寮生活をしている大学生が2人参加してくれました。

後日、「長崎南蛮料理の歴史も興味深いものでしたが、二品とも誠においしかったです。在学中、こんな楽しい機会に恵まれ、有難うございました」との礼状がきました。

●平成24年度総会とミニ集会
期 日：平成24年11月4日(祝日)
場 所：長崎純心大学調理室

午前10:00～午後14:00
テーマ：「アップルパイ」をつくりましょう
講 師：長崎純心大学教授 山脇美代先生
(支部会員 昭55 家院卒)

集 合：11月4日9時20分
長崎駅ポスト付近集合
＊タクシーにて三ツ山の純心大学に向か

う予定です。エプロン持参のこと。昼食時(パイの焼ける時間待ち)に総会の連絡事を話し合う予定です。お嬢様方やお友達もどうぞお誘いくださいませ。

大分支部 嶋田栄子
(昭和40年 短国卒)

少人数でも充実の会合



平成23年10月23日、支部長交替後、初めての総会を大分オアシスタワーホテルで開き、5月の通常総会の報告・会計報告の後、親睦会を開催しました。

2年に1度の支部総会で出席者6名と少々寂しくもありましたが、和やかで楽しい時間を持つことができました。卒業して随分長い年月が過ぎますが、皆さんとの会合を通じて学園がより身近に感じられ、次回の支部総会には多数の出席者を期待して帰路につきました。

次回の支部総会は、平成25年10月を予定しています。

鹿児島支部 山口圭子
(昭和57年 大食管卒)

向田邦子さんを偲んで



かごしま近代文学館で支部メンバーと



向田邦子彫刻贈呈式パネルを背景に妹の和子さんと

6月23日、雨模様の日でしたが、5名の同窓生が支部総会に集まりました。新しく参加された方や下田先生の

教えを受けられた大先輩を中心になごやかに進めることができました。

総会後には、「かごしま近代文学館」にて、同窓生でもある向田邦子さんの独立展示室を見学。向田さんが、小学生の頃、鹿児島に在住していたことが縁で、数々の資料を所蔵し、仕事部屋も再現してあります。まるで、ご自宅へおじゃましたような居心地の良さに、一同感激。

去る3月28日は、妹の和子さん寄贈の彫刻の贈呈式もあり、同窓生として3名出席いたしました。和子さんともふれあえて、ますます向田さんを身近に感じられたひと時でもありました。

「かごしま近代文学館」では、向田さんの特別展も時折開かれます。向田さんに会いに、鹿児島へいらっしゃいませんか。

来年の支部会は、6月上旬を予定しています。同窓生の輪が広がりますことを祈っております。

沖縄支部 與崎洋子
(昭和37年 短国卒)

ハワイアンフラで盛り上がった記念総会



やっと梅雨が明け、沖縄らしいギラギラ照りつける太陽・青い空・青い海と暑さがやってきました。

去る6月24日、平成24年度実践桜会沖縄支部総会、並びに支部創立20周年記念総会を開催することができました。記念総会とあって、外部からも多数参加して下さい、約30名が集まりました。アトラクションに、ウクレレ演奏、ハワイアンフラの踊りも加わり、終始和やかに過すことができました。ハワイアンフラでは、仲持陽子(昭和55年短国卒)さんも踊りのメンバーに加わり、会を盛り上げ下さいました。

本年10月14日、「第7回観劇会」として 郷土(多良間豊年祭8月踊り)の芸能を観劇する予定です。

実践ときわ会

科会長:古藤 黎子

今年度から実践ときわ会会長をつとめさせていただくことになりました。ときわ会は、高女から本年3月卒業の若い方たちと、幅広い年齢層の方々と組織されています。現在、高校卒業生の80～90%が他大学に進学している現状ですが、若い会員増に向け、併せて更なるときわ会の抛るべきところは何なのかを模索しつつよりよい方向をめざしていく所存です。本年度は、中高の応援を得て、来年1月14日成人の日に「新二十歳を祝う会」を桃夭館で催す予定です。この会が将来の会員増へと少しでもつながることを期待しております。

今年度も、より一層の皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

年間行事

■フラワーアレンジメント講習会

日時:11月18日(日)午後1～4時

会場:実践桜会会館

会費:4,000円

プリザードブドフラワーを使います。

(第2回目を2013年2月中旬に予定しています)

■歌舞伎講演会

日時:12月15日(土)午後1～3時

会場:実践桜会会館

会費:無料

●連絡先:TEL&FAX 03-6761-2520

(古藤黎子)

実践技芸科会

科会長:中岡 久恵

「技芸科」とは、大学制度に代わる昭和20年までの専門学校で、20年からは名称も被服科と変更になり、今日の大学、生活環境学科がその流れとなっております。「技芸科会」は昭和43年頃、先輩有志の方々が、会員の親睦と知識・技能の向上を図り、同窓会、学園の発展に協力しようとの主旨で発足いたしました。その時の発起人のお一人に戸野原先生がいらっしゃいます。

活動は多岐にわたる手芸教室・講習会が主となっており、総会、旅行、見学会のほか、「技芸科会だより」を発行し、今年は第44号となりました。また、実践桜会のバザーには手作

り品を製作提供、売り場にも立って協力しております。

現在では、主な技芸科の卒業生が高齢になりましたので、特別な活動はできなくなりましたが、毎月定期的に開催している各手芸教室に力を注ぎ、新しい会員を受け入れて楽しく続けております。

科会を問わずどなたでも歓迎します。

年間行事

■委員会:毎月第4木曜日

■懇親会:総会・各手芸教室の作品展示

24年4月26日 於:実践桜会会館ホール

■会報:「技芸科会だより」44号

8月2日発行

■寄贈品:手作り作品製作

6月28日・7月26日

■古切手収集:古切手を集め、福祉に贈っています。

■定期講習会:於:実践桜会会館

ハーダンガー刺繍教室 毎月第2木曜日

染色(楓会) 毎月第2火曜日

編物の会 毎月第3金曜日

日本刺繍(萌黄会) 毎月第1・3木曜日

●連絡先:TEL & FAX 03-3307-6472

(中岡久恵)

実践被服科会

科会長:松岡久美子

平成4年設立の被服系の卒業生の会です。現在の会員数は490名(専門・院・大・短)、専門11年卒の大先輩から平成22年卒の後輩まで74年のたての

つながりを持っています。年3回の事業活動では被服系卒業生ならではの製作講習会、新しい知識を吸収、体験するための見学会、講習会などを行っています。この3年、文楽、歌舞伎、能楽という日本の古典鑑賞会がご好評をいただいています。学祖下田歌子先生のお名前をいただき、衣について学んだ仲間の意味を込めてつけられた会誌「歌ごろも」の情報版と本号を年2回発行しています。学科の先生方のお力もお借りし、母校、出身学科の情報なども全国の会員にお届けしています。「なよたけ情報版No.18」をご覧ください。被服系の卒業生の皆様、ご参加をお待ちしています。

年間行事

■総会・創立20周年記念パーティー

4月22日(日):於:ハイアットリージェンシー東京

無事終了し、新年度がスタートしました。

この20年間、本当に沢山の方々に支えられ

てきたと実感し、感謝の気持ちで一杯です。気持ちも新たに委員一同、頑張って、21年目の歩みを進めています。

■バス日帰り見学会

「佐原あやめ祭りと小江戸巡り」

6月22日(金)終了しました。

■能楽鑑賞とランチ

9月8日(土)終了しました。

■講習会 メモリーネックレス製作

お手持ちのネクタイがモダンなネックレス

に変わります。

日時:12月2日(日) 11:00～15:00

会場:実践桜会会館

会費:2,500円(軽食込)

持参するもの:裁縫用具、ネクタイ、布地

★講習会のお申込み

TEL & FAX 03-3202-1286 (金成羊子)

■会報誌発行

・歌ごろもニュース No.16 6月1日発行

・歌ごろも21号 12月1日発行予定

●連絡先:TEL & FAX 03-3721-9378

(松岡久美子)

実践家政科会

科会長:熊切富子

佳き時代に創立された家政科会は、この社会の変わり様、世相の厳しさに今後のあり方も一部、考えなければならないと思っています。4月に西島基弘名誉教授に「安心、安全な食品」と題してご講演いただき、大勢の参加者の高い評価を感じ、会員が何を求めているかを識る事の大切さを痛感しました。会員の増強を図る事はもちろんですが、魅力ある会にするための企画を怠らない事と考えます。

家政科会は若い層を支援する事を目的にここ3年位8月には学園の助手さん学生さんを招待いたし、料理講習会を会員と共に勉強、5年前より総会にて優秀な成績で卒業した音大生を支援し、演奏の場を提供、クラシックの演奏会を行っています。格式あるフランス料理講習会、総会の際のすばらしい音楽会に会員外の皆様もどうぞご参加下さいませ。

年間行事

■障害者作業用エプロン縫製

開催:9月26日(水) 会場:実践桜会会館

■見学会

アサヒビール神奈川工場・(食事)澤亭・小田原文学館

開催:11月8日(木) 集合:8時40分(渋谷)

■歳末助け合いに参加・寄付



開催:12月15日(土)

■新年会

開催:平成25年1月16日(水)

会場:ハイアットリージェンシー東京

●連絡先:TEL & FAX 045-571-0213

(熊切富子)

実践国文科会

科会長:加瀬和子

4月28日、新設の会館での総会開催後、記念講演会では池田三枝子先生(実践女子大文学部教授)による万葉歌の、自然と心情の織りなす表現の豊かさについてご講話をいただきました。

6月5日に開催した伊豆近代文学博物館と修禅寺を巡るバス旅行では、多くの文人達の足跡を辿り、天城の森に英気を養い、心洗われる一日でした。

現在会員670名余、会誌の「りんどう」(年1回)を発行し、全国の会員との絆を深めています。会員の方々の研究・創作等の発表の場として、また学園・科会からの情報の場と



して「りんどう」が多くの方に読まれ、国文科会への一層の関心をお寄せくださるよう願っております。

年間行事

■会誌:「りんどう」37号を発行:7月

■学祖祭献香:10月6日(土)

■スカイツリーと江戸のお座敷芸を楽しむ:

11月6日(火) 於:真千代

■新年会:平成25年1月27日(日) 於:京王プラザホテル

●連絡先:TEL&FAX 03-3304-3831

(加瀬和子)

実践英文科会

科会長:山内典子

永井和子(昭41大英卒)

から山内典子(昭43短英卒)が会長を引き継ぎました。どうぞよろしく願いたします。

英文科会は1977年(昭和52)、「同窓生が一つの軸となり、核となって、生涯教育に励みつつ大きな夢を広げていきましょう」と専門部の先輩方が中心となっ



皆さまのご参加をお待ちしています

実践キャリアネット

2012年度の活動

講師:たけなが かずこ氏

マザーリング&ファミリーナーシング研究所所長、一般社団法人日本医療接遇協会理事長

テーマ:「仕事と育児(人生)どちらも素敵 ～ワーク・ライフ・バランス～」

日時:6月16日(土)(於:桜会会館1階)

- このたび9周年を迎えました。皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。今後も「仕事」をキーワードとし、世代・学部を超えた実践の仲間とキャリアアップのための勉強会、在学生の就職に向けてのアドバイス等、同窓生の交流の場として、より充実した「キャリアネット」を目指してまいります。ぜひ一度、セミナー等にご参加下さい。お待ちしております。

キャリアネット総会后、講演会を開催

*講演会終了後

の懇親会では、たけなが氏を交えて楽しいひとときを過ごしました。



セミナー開催予定(最新情報はHPをご覧ください http://www.j-sakura.org)

●在学生向け就職相談:「ようこそ先輩

ようこそ後輩 “働く”を話そう」

10月20日(土)(於:日野大学校内)

●第1回セミナー:11月17日(土)

講師:小西 淑子氏(オットー・ジャパン(株)取締役)

●第2回セミナー:2月16日(土)

講師:富田 ゆか氏(Stilla アロマセラピースクール主催)

*各セミナー終了後、会員相互の懇親会を催します

卒業生のための就職相談会

毎月第4土曜日(於:桜会会館)に開催しており、キャリアカウンセラーが親身になって再就職や就職のご相談に応じます。なお、9月は第5土曜日、10月は第1土曜日の開催となります。8月、12月はお休みです。気軽に桜会事務局までご予約ください。

●実践キャリアネット入会方法

入会申込はいつでも受け付けております。桜会事務局へ、ご連絡ください。(月曜～土曜の9時30分～17時、日曜、祝日を除く)。TEL:03-3407-7459 FAX:03-3499-0835

*HPからも申込みができます。http://www.j-sakura.org [年会費] 2,000円 (入会金は不要) [振込先] みずほ銀行 渋谷中央支店 普通 1748354



4名の奨学生を選出しました

平成24年度選考委員会を3月に発足させ、規程を基に奨学金の金額、奨学生の人数を再検討しました。給付金額は1名につき月額4万円、年額48万円とし、給付人数を4名としました。

4月10日のホームページで一般公募するとともに、昨年度応募者のあった各大学にも募集を依頼しました。今年度は、応募者96名(12大学院、10大学、10カ国)でした。第一次選考委員会(書類選考)を6月4日(月)に、第二次選考委員会(面接選考)を6月17日(日)に行い、既卒者1名、留学生3名、計4名が奨学生に決まりました。

なお、選考委員は各役員選出母体から推薦された5名と、理事長、常任理事5名 計11名で構成されております。

今年度も交流会を2回開催いたします。第1回を10月



13日(土)、第2回を平成25年3月2日(土)に開催する予定です。ご参加ご希望の方は、実践桜会にお申し込み下さい。

呉 枚嬪 ング メイビン

マレーシア
東京大学大学院 修士1年
新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻



ライフサイエンスを研究

私は生物について興味があり、2009年に台湾大学を卒業した後、研究を深めるため日本に留学しました。今年から、東京大学大学院の修士1年生として、酵母を用いた生命応答制御について研究をしています。将来の夢は博士課程へ進学することで、教職につくことを希望しています。

張 紫童 チョウ シドウ

中華人民共和国
早稲田大学大学院 修士2年
政治学研究科 国際関係専攻



日中両国の架け橋に

私は学部時代に交換留学生として日本に参りまして、日本人の勤勉さと学問に対する真面目な研究姿勢に感銘しました。その後、私は早稲田大学政治学研究科に進学。将来は研究者を目指して、もっと広い視野でこの世界を認識したい、国際関係の研究に携わることで、日中両国の学校交流と連携に少しでも貢献したいと考えています。

BUI THI HONG HOA ブイティ ホンホア

ベトナム
東京学芸大学 1年
教育学部特別支援教育 教員養成課程



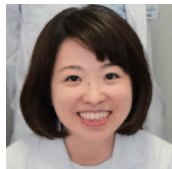
障害児教育に貢献したい

中学時代からベトナム子供基金の青葉奨学金を受け、高校卒業まで学費を支援していただきました。奨学金は本当にありがたかったです。

2008年9月、朝日新聞奨学生として日本へ留学。障害のある人への教育に関心を強く抱くようになりました。ベトナムの障害を持つ子供たちのために何かできないかと考え、将来はベトナム中部に障害児たちのための教育施設、小学校を作りたいと夢を描いています。大学卒業後、日本で学んだ特別支援教育の方法をベトナムへ持ち帰り、ベトナムの障害児教育に貢献したいと思います。

原口 麻紀 ハラグチ マキ

日本
筑波大学大学院 博士後期課程3年
人間総合科学研究科 生涯発達科学専攻



スタンフォード大学へ留学

米国スタンフォード大学への留学を決めたのは、私の研究分野で世界的に著名な研究者が在籍し、先進的な臨床実践と研究がなされているためです。大学では、総合病院のがん医療における心理職の活動モデルの構築について研究しています。

将来は、博士号を取得し、日本のがん医療における臨床心理学的実践と研究に貢献していきたいと考えています。母校の奨学生として留学させていただく貴重な機会をいただき、大変光栄に存じます。諸先輩方のご厚意を精一杯活かさせていただきます、学びを深めたいと思います。

歌子先生 英国巡り会い

—オックスフォード大学 サマヴィル・コレッジ アグネス・メイトランド学長—



大関 啓子

実践女子大学英文学科 教授
実践女子学園 PJ 研究
下田歌子研究所 所長



前号の『学祖下田歌子先生を顕彰する』の報告に続き、連載の御依頼を受け、歌子先生の英国での巡り会いについて、皆様にお伝えしたいと思います。

昨年、実践女子学園にPJ研究下田歌子研究所が発足、様々な下田研究における架け橋となるよう、11名の研究員が広く社会に発信する活動を始めました。先生の訪問校については、機関誌『うた子だより』に連載し、文学部紀要でも詳細な報告をご覧になれます。

ここでは英国のそれらの訪問校で、歌子先生が出会い、影響を受けた人々について、一人ずつ紹介しましょう。

その一人目は、オックスフォード大学サマヴィル・コレッジのアグネス・メイトランド学長です。

オックスフォード大学は国立大学であると同時に、学寮ともいべき35の私立コレッジを併設し、英国でもオックスフォード大とケンブリッジ大に特有の個人指導と食住を中心とする組織で構成されています。

サマヴィルは、オックスフォード大の共学の名門コレッジの1つですが、1879年にサマヴィル・ホールの名称で、オックスフォード大学初の女子学寮として創設されました。マーガレット・サッチャー元首相やノーベル賞受賞者等、多くの出身者が活躍しています。

アグネス・メイトランド女史はその二代目の学長として、歌子先生を温かく迎え、彼女の学長ロッジに二泊、先生は滞在し、視察しています。

二人の出会い、1895年5月21日である事が、英国現地調査で判明しました。翌6月に日本への帰国を控え、歌子先生は多忙中、予定を調整しての訪問であることが、先生直筆の英文書簡(前号で紹介)からもわかります。

この当時、オックスフォード大でも、女性の卒業資格は、認められていませんでした。女子学生達は講義への出席、試験の受験、そして卒業資格試験の受験といった様々な権利を、「徐々に」闘い、勝ち取っていったのです。理性ある女子高等教育実現のための改革の道は遠く、女子学生達だけでなく、多くの人々の努力を要するものでした。

歌子先生訪問の前年の1894年に、メイトランド学長の下、サマヴィルはホールからコレッジへと、名称変更をしたばかりで、改革の真最中でした。



アグネス・メイトランド学長

彼女は歴代の学長の中でも別格であり、彼女自身がサマヴィルそのものであると言われる程、コレッジ精神を受け継ぎ、その伝統に新しい息吹を吹き込んだ人物といえます。リヴァプールで生れ、そこで既に数年間、家庭経済や料理の授業もし、本も出版していました。自ら心に決めたことを熱心に説くタイプの人でした。1889年に学長に指名された時は40歳で、優れた管理・運営能力、判断的的確さ、そして熱意と、発展途中のコレッジにとって、必要な能力をすべて備えていました。

歌子先生は、「学文あり、見識あり、且つ、最も交際に熟して、其儀式的敬神の容態、更に点打つべき所無し」と、彼女を高く評価しています。

寄付を募り、正門や学生寮・食堂等

の増築を行い、オックスフォード大としても女子コレッジとしても初めて、学生に解放された図書館をつくります。学生数も寮が満室になる程増え、学生とスタッフの大きな信頼を得ていました。こうしてオックスフォード大学において、女性がdegreeを勝ち取るための「闘い」の過程を、その真髄を、歌子先生はサマヴィル・コレッジで目撃し、体験したのです。

歌子先生は、施設・設備の他、組織・学則・個人指導カリキュラム・学生数・学生生活・授業料など入念に調べ、資料を日本に持ち帰っています。それらは帰国後、1899年実践女学校創設に様々な影響を与えました。そうした意味でサマヴィルは、実践のルーツのひとつと言ってもよいでしょう。

メイトランド学長は、こうした改革の後、1897年病に倒れ、その後復帰しますが、1906年引退し、その年に57歳の若さで逝去します。17年間学長として情熱のすべてを女性のための理性ある高等教育実現に注いだ生涯でした。

歌子先生は1895年8月帰国し、その4年後、実践女学校を開校します。そこには、サマヴィル・コレッジ視察の体験と資料が活かされ、メイトランド学長をはじめとする女性の高等教育実現に努力した人々の夢が、しっかりと受け継がれています。

大関 啓子 プロフィール
中学校から大学院修士課程まで実践を卒業。その後、学習院大学大学院博士後期課程を経て、ケンブリッジ大学客員研究員。現在、実践女子大学文学部英文学科教授、実践女子学園PJ研究下田歌子研究所所長。国際チョーサー学会会員および日本中世英語文学学会会員。著書『中世英国ロマンス文学—ケルト追通』他。

本部
だより

学祖祭 10月6日(土)

- 護国寺 墓参
- 実践桜会会館 学祖祭関連イベント
 - 祭壇を設け、先生を偲ぶひと時を用意しております
 - 献香(国文科会)
 - 展示(同窓生からの寄贈資料を中心に)
 - 先生自筆短冊、戦前の制服布地、卒業アルバム他

●「下田歌子先生の著作を読む会」の報告

学祖祭での「下田先生の著作を読む会」は、板垣弘子元文



学部教授編集『下田歌子著作集』をテキストに、順不同に読み始めました。口語訳に挑戦し、出席者と検討しながら読み進めています。

9月30日には湯浅学長をお招きし、テキストで気になった女子教育の隆盛衰退、再興等についてお話を伺いました。

- *会のご案内
 - *テキストコピー代 実費(室料、参加費等も今後は検討中)
- 連絡先:会館事務局「下田先生の著作を読む会」まで

総務部

- 地区懇談会報告
- 日時:9月8日(土) 12時30分～
- 会場:ホテルオークラ新潟
- 黛まどか氏による文化講演会『引き算の美学―俳句を通してみる日本人の美意識―』、14時40分より新潟支部との懇談会。16時45分より実践女子大学・短期大学後援会との合同懇親会を開催しました。

文化部

- 実践桜会バザー開催
- 日時:10月27日(土)・28日(日) 10～15時
- 会場:中高体育館内ギャラリーアーリーナ
- 全国各支部の特産品、雑貨、科会・会員の皆様の手作り品など沢山のご寄贈品が並びます。
- 皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。
- *ご寄贈品の提供のお願い
- 受付:10月20日(土)まで
- ・鮮度を要する食品は10月24日(水)まで
 - ・手作り品など1個からでも大歓迎です
 - ・記念品販売(オリジナルクリアファイル、お茶他)

- 初春歌舞伎観劇会
- 日時:2013年1月14日(月・祝日)
- 場所:国立劇場
- 演目:「夢市男達競(ゆめのいちおとこだてくらべ)」等
- 出演:尾上菊五郎他
- ・チケット代1万円(含お弁当、解説イヤホン)
- お申し込みは、実践桜会文化部へ
- TEL 03-3407-7459
- FAX 03-3499-0835

財務部

- 会費納入のお願い
- 一般社団法人教育文化振興実践桜会の運営・活動は、皆さまの会費によって支えられています。会費未納の方は、振込用紙にてゆうちょ銀行および実践桜会本部窓口でご納入願います。なお、振込用紙がない場合は実践桜会会館までご連絡ください。
- TEL:03-3407-7459
- FAX:03-3499-0835

実践桜会会館利用サークルのご紹介

サークル名	活動曜日	主な内容
アトリ工染花	第1日曜日	工芸・飾り花
編み物の会	第3金曜日	工芸・編み物
実践桜会囲碁教室	第2・4月曜日	囲碁
英文輪読会A	第2・4金曜日	英文学
英文輪読会B	第1・3金曜日	英文学
実践絵手紙の会	第3日曜日	絵手紙
かえで(楓)会	第2火曜日	染色
合唱団	不定期	音楽
くさぶえ会	月1回土(日)曜日	音楽
桂泉会	月2回土曜日	華道古流
建宝会	土曜日	謡曲
香書を読む会	不定期	香道
香友会	不定期	香道
古典を楽しむ会	第2・4月曜日	日本文学
桜書道教室	第1・3土曜日	芸術・書道
下田歌子先生の著作を読む会	第4日曜日	研究会:下田先生を広く知る
山川園松箏曲教室	月2回土曜日	山田流箏曲
高橋先生書道室	月2回火曜日	書道
童の会	第1日曜日	文学・児童の研究と創作
十八の会	第4月曜日	懇親会
ハーダンガーの会	第2木曜日	工芸・ハーダンガー 刺繍
ビーズの会	不定期	工芸・ビーズ
マンドリンクラブOG会	不定期	音楽・マンドリン
実香会	第3土曜日	香道
萌黄会	第1・3木曜日	日本刺繍

2012.08 現在 / お問い合わせは会館事務局へ

学園
だより

ホームカミングデーのお知らせ



- 実践女子学園中学校高等学校(渋谷校舎)
- 日 時:平成24年10月28日(日)
- 9時～16時(ときわ祭開催中)
- *歓迎セレモニー・懇親会 14時～15時
- 会 場:3館5階会議室
- 連絡先:実践女子学園中学校高等学校事務部
- 住 所:〒150-0011 渋谷区東1-1-11
- TEL 03-3409-1771

- 実践女子大学・短期大学(日野・大学校舎)
- 日 時:平成24年11月10日(土)
- 受 付:10時～(正門、常磐祭開催中)
- ＜プログラム＞
- 講演会「キレイと元気を一挙にかなえる！魔法の葉膳。葉膳ってなあに？」
- 講 師:瀧本靖子(本学卒業生、葉膳料理家)
- 時 間:13時00分～14時10分
- 会 場:大学・本館441教室
- 懇親会
- 時 間:14時30分～16時00分
- 会 場:大学・香雪記念館2階会議室
- お問い合わせ:実践女子学園 総合企画部

お便りー思い出の学園

佐野(稲垣)ふみ子(昭和5年 技芸科卒)

長男 佐野 滋

昭和初期、母の学園生活

私の母は、昭和5年(1930年)に技芸科を卒業するまでの3年間を、当時の東京府豊多摩郡渋谷町常磐松の地で過ごしました。静岡県出身の母は学生寮に入り、外に用事のある時などは、人力車で渋谷駅まで出かけていたそうです。学校ではクラスごとに毎週1時間、下田歌子先生の全学生必修の講義がありました。その時間、学生はみな制服の着物の襟を正し、背筋を伸ばして着席し、私語は厳禁。先生が黒板にすらすらと流れるようにお書きになる文字の美しさは、まさに芸術作品を見る思いだったと言うことです。

母は旧制高等女学校に4年しか通っておらず、しかも早生れのためクラスでは最年少でした。当時は小学校の先生を途中で辞して入学してきた年上の方などもおられ、「自分はずな、みんなのようにうまく出来ないのか、毎日のよう

- 〒191-8510 日野市大坂上4-1-1
- TEL 042-585-8804
- 常磐祭開催日:平成24年11月10日(土)・11日(日)
- 詳細は同封のチラシをご確認ください。

展覧会 知られざる女性画家たち

ー江戸から大正期のもう一つのまなざしー

- 会 期:10月29日(月)～12月7日(金)
- 休館日:土・日・祝と11月9日(金)・11月12日(月)
- (ただし、11月10日(土)・11月11日(日)・11月23日(祝)は開館)
- 開 館:11時～16時
- 入館料:無料
- 会 場:実践女子大学構内(香雪記念館1階展示室)
- 主 催:実践女子学園香雪記念資料館
- 〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1
- お問い合わせ:実践女子学園香雪記念資料館
- TEL 042-585-8873

実践英文学会シンポジウム

「カタストロフィーとその後」

- 日 時:10月26日(金) 14時45分
- 会 場:日野キャンパス(香雪記念館大ホール)

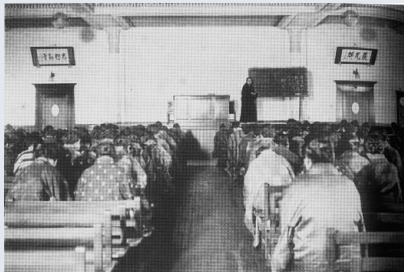
実践女子学園PJ 研究下田歌子研究所主催 交流談話会

「歌子さんの集い」第二回

- 日 時:10月21日(日)午後1時～3時
- 会 場:岐阜県恵那市岩村町 岩村振興事務所
- 当日は薩摩琵琶の弾奏「歌子抄」
- 学長講演「下田歌子の新資料について」等の予定



佐野ふみ子さん



下田歌子先生の講義風景

に心の中で泣いていた」そうです。

一方、夕食後のひととき、学生寮の大部屋は全国各地のお国言葉がとび交い、いつも笑い声が絶えなかったとか。東京に自宅のある友人たちから「寮生活は楽しそうね。うらやましい！」とよく言われたそうです。

よき師、よき友に囲まれて過ごした常磐松での学生生活は、明治、大正、昭和、平成を生き、91才で生涯を終えた母にとって忘れることの出来ない思い出がぎっしり詰まった3年間だったに違いありません。

常磐松 その名消えても 消え残る

ともに学びし 思い出の日々

滋

【理事長】

- 一般社団法人移行後の処理
- 建設委員会及び新会館移転プロジェクトの開催

【総務部】

- 1)定時総会、臨時総会、理事会 13 回、常任理事会 11 回、委員会 2 回
- 2)大学・短期大学後援会／実践桜会 共催
公開市民講座、地区支部との懇談会開催
(9 月 3 日)於：郡山市
- 学祖祭：護国寺墓前及び中高校舎香雪記念
室内祭壇参拝 実践桜会会館 1 階に祭壇設置参拝(10 月 8 日)
- 入学、卒業祝記念品贈呈(大学院・大学・短大・高校・中学)
- その他学園等の懇親行事に参加
- 大学・短大「常磐祭」に参加(11 月 12・13 日)
- 各支部・各科系列主催の講演会、発表会等 随時参加
- 事務局運営
- 【総務部―会員部】
- コンピューターによる会員サービス事業 (名簿管理等)
- 正会員増員の為の事業五カ年計画
- 【総務部―会館管理部】
- 修繕なし

【事業部】

- 1)学園助成金贈呈(5 月 21 日)
- 2)実践桜会奨学基金給付：大学院・大学・短大・特別枠各 1 名計 4 名給付
- 実践桜会国際交流基金給付：5 名(奨学生交流会実施 10 月、3 月)
- 社会活動助成金支給：学園関係 1 団体、9 支部、5 科会、他 1 団体
- 大学・短大「常磐祭」へ協賛金支給・桜会賞贈呈
- 入学・卒業祝記念品発注
入学時：クリアファイル、実践桜会しおり
卒業時：クリアファイル、実践桜会しおり
- 結婚相談(第 2、第 4 土曜日)
- ハーダンガー刺繍教室(毎月第 2 木曜日)
- 囲碁教室(毎月第 2、第 4 月曜日)
- 貸室業務
- 実践桜会所蔵図書の貸出及び整備・購入



実践桜会会館で行われた楽しいクラス会



【文化部】

- 親睦会「3つの和を楽しむ」(9 月 16 日)
- 実践桜会バザー開催(実践桜会会館・学園
記念館ロビー) 10 月 29 日(土)・30 日(日)
- 歌舞伎観劇会開催(国立劇場)(H24 年 1 月 9 日)

【広報部】

- 1)「那与竹」第 74 号発行(4 月 1 日)
- 2)「なよたけ情報版」№.17 発行(10 月 1 日)
- 3)実践桜会公式ホームページ管理・運営

【キャリアネット】

- 運営委員会 毎月 1 回 開催
- 総会と講演会 (6 月 18 日)
「生涯現役！ 女性と仕事 」
講師：(株)フジテレビジョン エグゼクティブディレクター
三宅 恵介氏

- セミナー開催
11 月 イタリアの料理・文化・生活を語る
―オリーブオイルを普段の食生活に取り入れ善玉コレステ
ロールを増やそう―
講師：フードコーディネーター・イタリア料理研究家
青木 敦子氏

- 2 月 女性のキャリアと健康を考える
―元タカラジェンヌ 初風 緑さんに学ぶ美しい姿勢とエ
レガントな動きでアンチエイジング―
講師：元宝塚歌劇団男役スター・上野毛 GI Studio 主催
初風 緑氏

- 在校生就職支援相談会開催(10 月 15 日)
- 「ようこそ先輩、ようこそ後輩 “働く”を話そう！」
- 卒業生のための就職・転職相談会開催(毎月第 4 土曜日)

平成 23 年度会館利用状況

月	件数	人数
4	27	199
5	23	164
6	35	345
7	24	170
8	5	20
9	34	286
10	24	171
11	31	261
12	10	99
1	休館	
2	24	177
3	36	419

合計 273 件 2311 名

貸借対照表

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位：円)	
科 目	当年度
I 資産の部	
1 流動資産	
現 金	329,724
普通預金	18,871,402
流動資産合計	19,201,126
2 固定資産	
(1) 基本財産	
預金その他	27,966,601
基本財産合計	27,966,601
(2) 特定資産	
実践桜会奨学特定資産	13,150,000
国際交流特定資産	60,000,000
退職給付引当資産	904,568
特定資産合計	74,054,568
(3) その他の固定資産	
定 期 預 金 等	51,170,000
減価償却資産	99,919,723
その他固定資産合計	151,089,723
固定資産合計	253,110,892
資産合計	272,312,018

正味財産増減計算書

平成 23 年4月1日から平成 24 年3月 31 日まで

(単位：円)	
科 目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1)経常収益	
基本財産運用益	43,248
特定資産運用益	183,357
受取入会金	14,060,000
受取会費	14,552,000
事業収益	4,702,153
受取寄付金	2,158,888
雑収益	12,644,201
経常収益計	48,343,847
(2)経常費用	
事業費	28,941,000
管理費	18,831,936
経常費用計	47,772,936
当期経常増減額	570,911
2. 経常外増減の部	
(1)経常外収益	
経常外収益計	0
(2)経常外費用	
経常外費用計	9,893,818
当期経常外増減額	△ 9,893,818
当期一般正味財産増減額	△ 9,322,907
一般正味財産期首残高	124,670,556
一般正味財産期末残高	115,347,649
II 指定正味財産増減の部	
基本財産運用益	43,248
特定資産運用益	183,357
一般正味財産への振替額	△ 226,605
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	101,116,601
指定正味財産期末残高	101,116,601
III 正味財産期末残高	216,464,250

(単位：円)	
科 目	当年度
II 負債の部	
1 流動負債	
前 受 金	3,758,000
預 り 金	15,200
流動負債合計	3,773,200
2 固定負債	
入会予納金	51,170,000
退職給付引当金	904,568
固定負債合計	52,074,568
負債合計	55,847,768
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	
指定正味財産合計	101,116,601
2 一般正味財産	115,347,649
正味財産合計	216,464,250
負債及び正味財産合計	272,312,018

平成 24 年度予算書（正味財産増減計算書）

平成 24 年4月1日から平成 25 年3月 31 日まで

(単位：円)			
科 目	予算額	前年度補正予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	280,000	280,000	0
受取入会金	13,700,000	13,700,000	0
受取会費	16,700,000	15,120,000	1,580,000
事業収益	6,000,000	5,363,000	637,000
受取寄付金	1,500,000	1,500,000	0
雑収益	850,000	12,850,000	△ 12,000,000
経常収益計	39,030,000	48,813,000	△ 9,783,000
(2)経常費用			
事業費	33,690,000	32,735,000	955,000
管理費	13,250,000	18,067,500	△ 4,817,500
経常費用計	46,940,000	50,802,500	△ 3,862,500
当期経常増減額	△ 7,910,000	△ 1,989,500	△ 5,920,500
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	11,000,000	△ 11,000,000
当期経常外増減額	0	△ 11,000,000	11,000,000
当期一般正味財産増減額	△ 7,910,000	△ 12,989,500	5,079,500

当事業年度から「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用しています。